

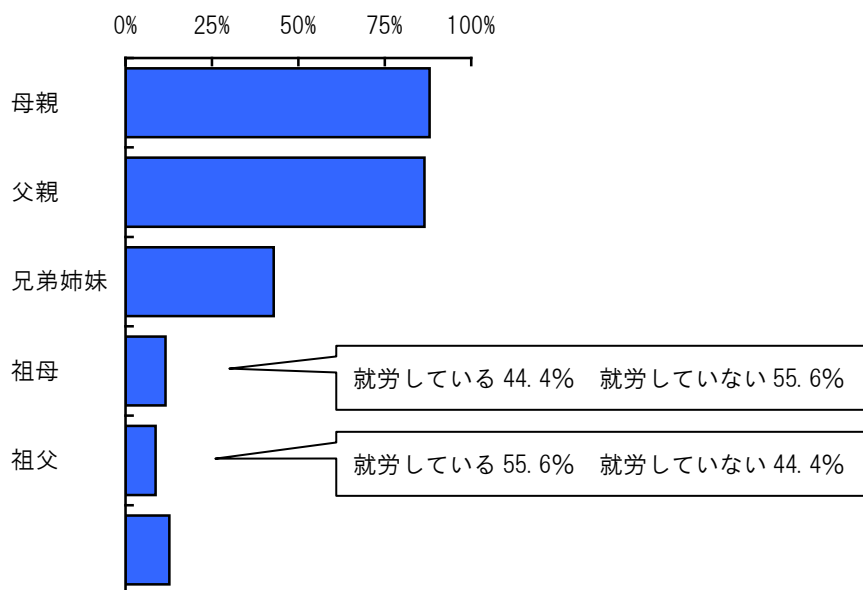
IV 調査結果

●○ すべての方が回答 ○●

1 あなたのご家庭について

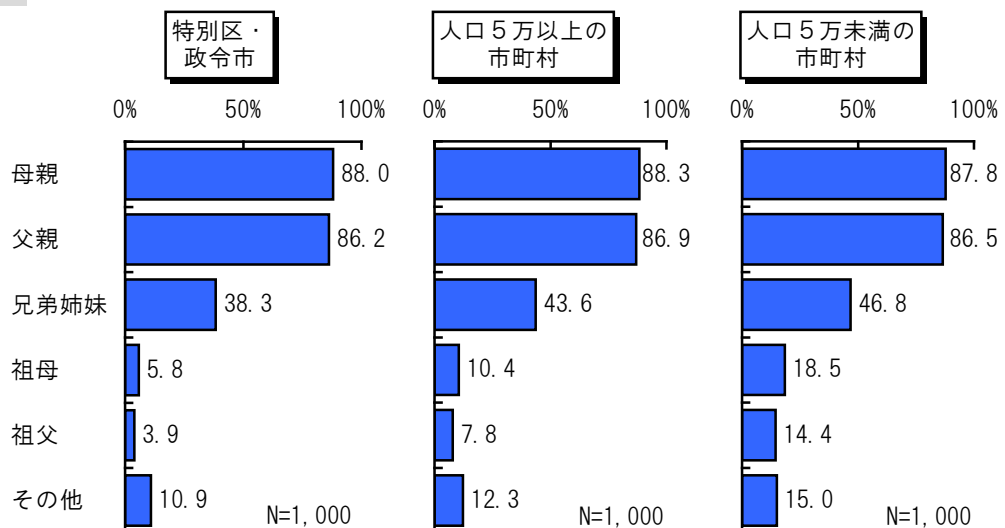
(1) 同居家族の構成と祖父母の就労状況 [F 1]

(子どもから見た) 同居家族の構成をお答えください。(○はいくつでも)



同居家族の構成は、「母親」の88.0%と、「父親」の86.5%が多く、8割を超えています。次いで、「兄弟姉妹」が42.9%、「祖母」が11.6%、「祖父」が8.7%となっています。

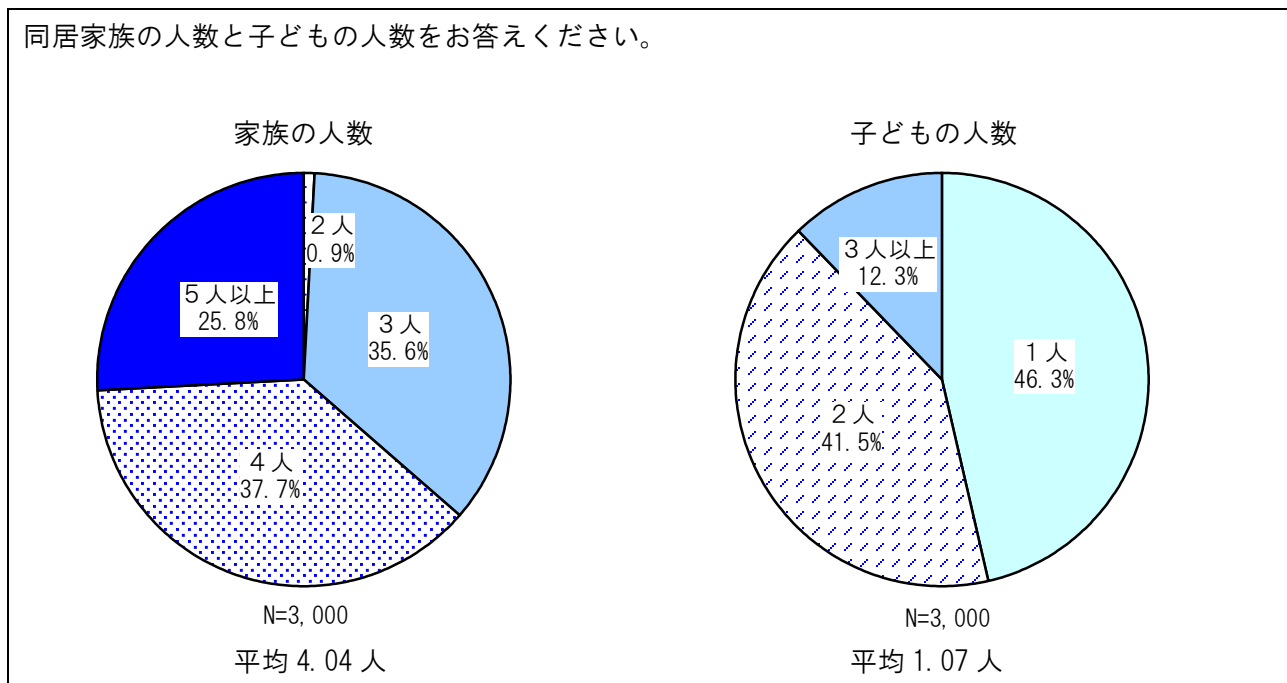
◆ 人口規模別 ◆



人口規模別にみると、「祖母」や「祖父」は、人口5万未満の市町村が多くなっています。

(2) 同居している家族、子どもの人数 [F 2]

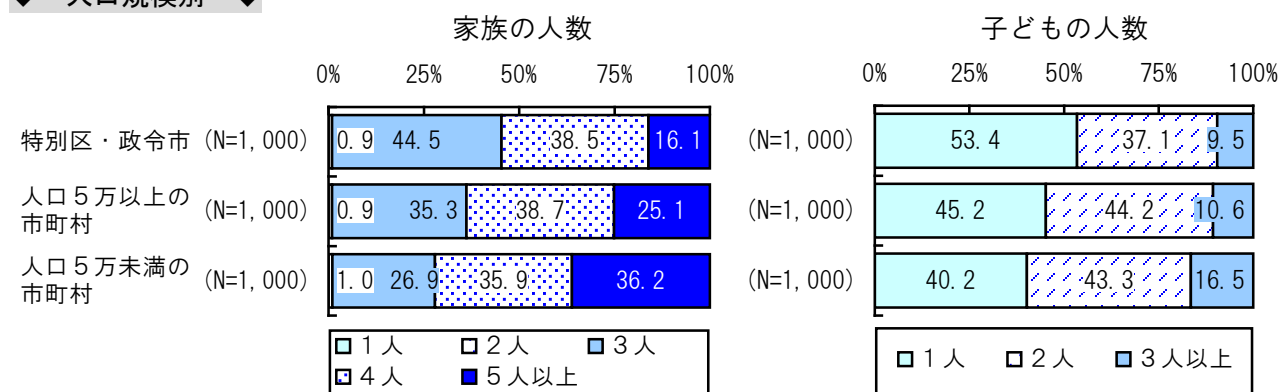
同居家族の人数と子どもの人数をお答えください。



同居している家族の人数は、「4人」が37.7%と多く、次いで「3人」が35.6%、「5人以上」が25.8%などとなっています。家族の平均人数は4.04人となっています。

子どもの人数は、「1人」が46.3%と多く、次いで「2人」が41.5%、「3人以上」が12.3%となっています。子どもの平均人数は1.07人となっています。

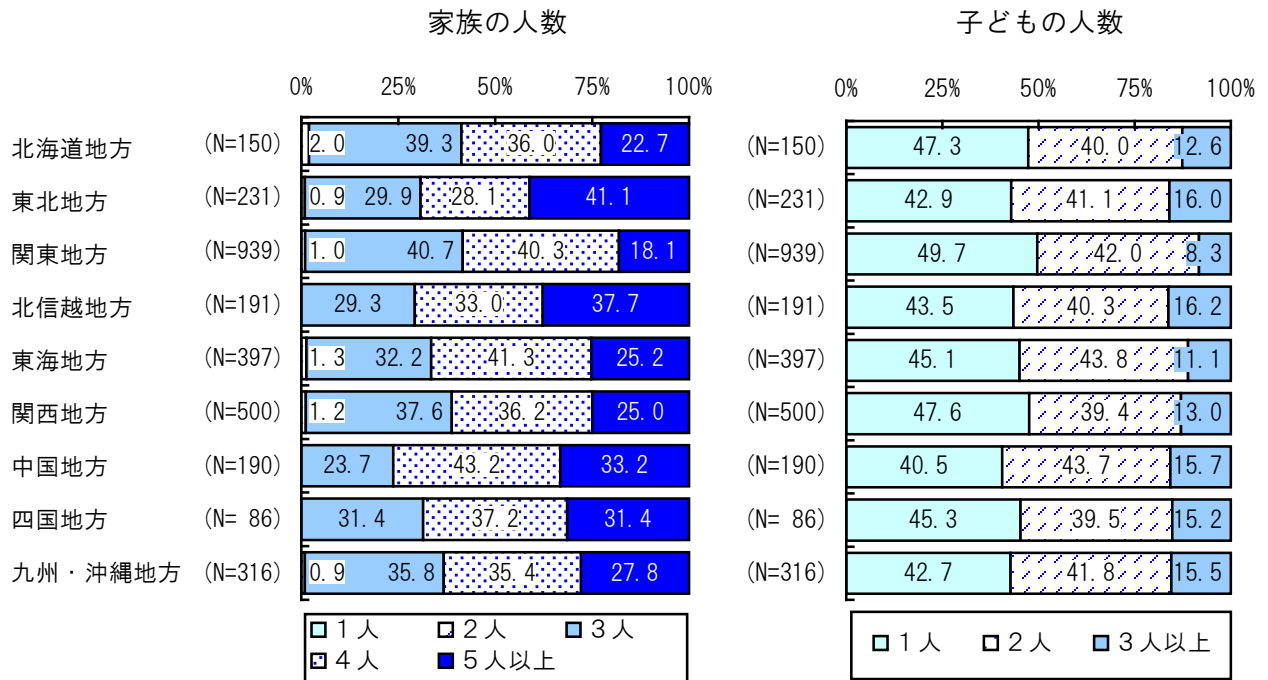
◆ 人口規模別 ◆



人口規模別に家族の人数をみると、「5人以上」は人口5万未満の市町村が36.2%と最も多く、次いで人口5万以上の市町村が25.1%、特別区・政令市が16.1%と、人口規模が小さいほど家族の人数が多くなっています。

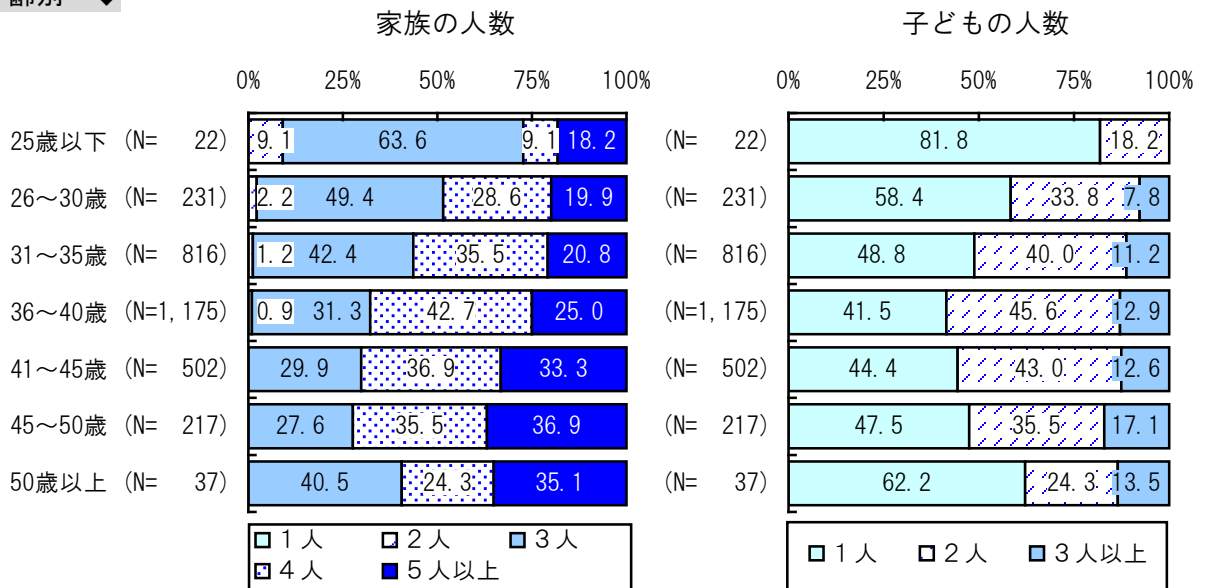
子どもの人数をみると、「1人」は特別区・政令市が53.4%と多く、次いで人口5万以上の市町村が45.2%、人口5万未満の市町村が40.2%と、人口規模が大きいほど子どもの人数が少なくなっています。

◆ 地方別 ◆



地方別に家族の人数をみると、「5人以上」は東北地方が41.1%と、他の地方よりも多くなっています。子どもの人数をみると、「3人以上」は関東地方が8.3%と、他の地方よりも少なくなっています。

◆ 年齢別 ◆

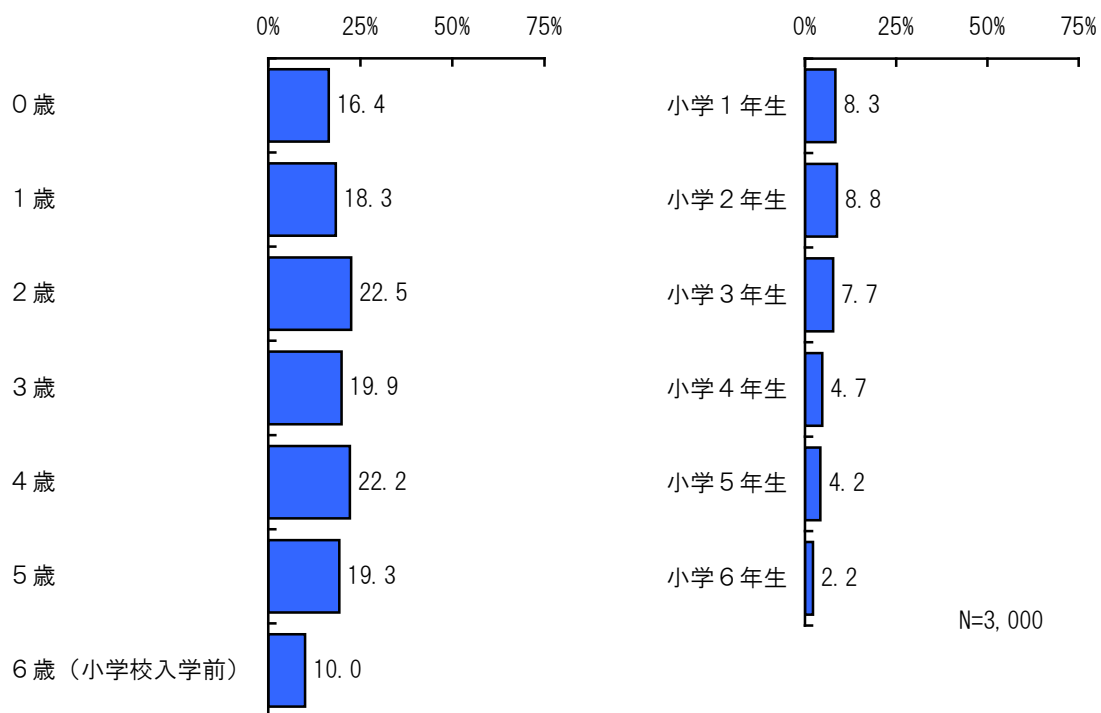
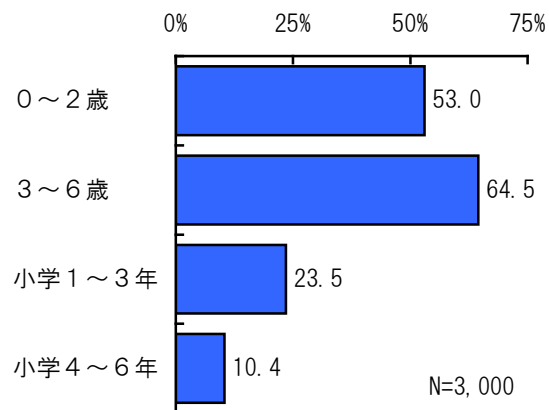


年齢別に家族の人数をみると、「3人」は年齢が低いほど多い傾向にあります。また、「5人以上」は41歳以上で3割を超えています。

子どもの人数をみると、「2人」は31～45歳で4割を超えています。

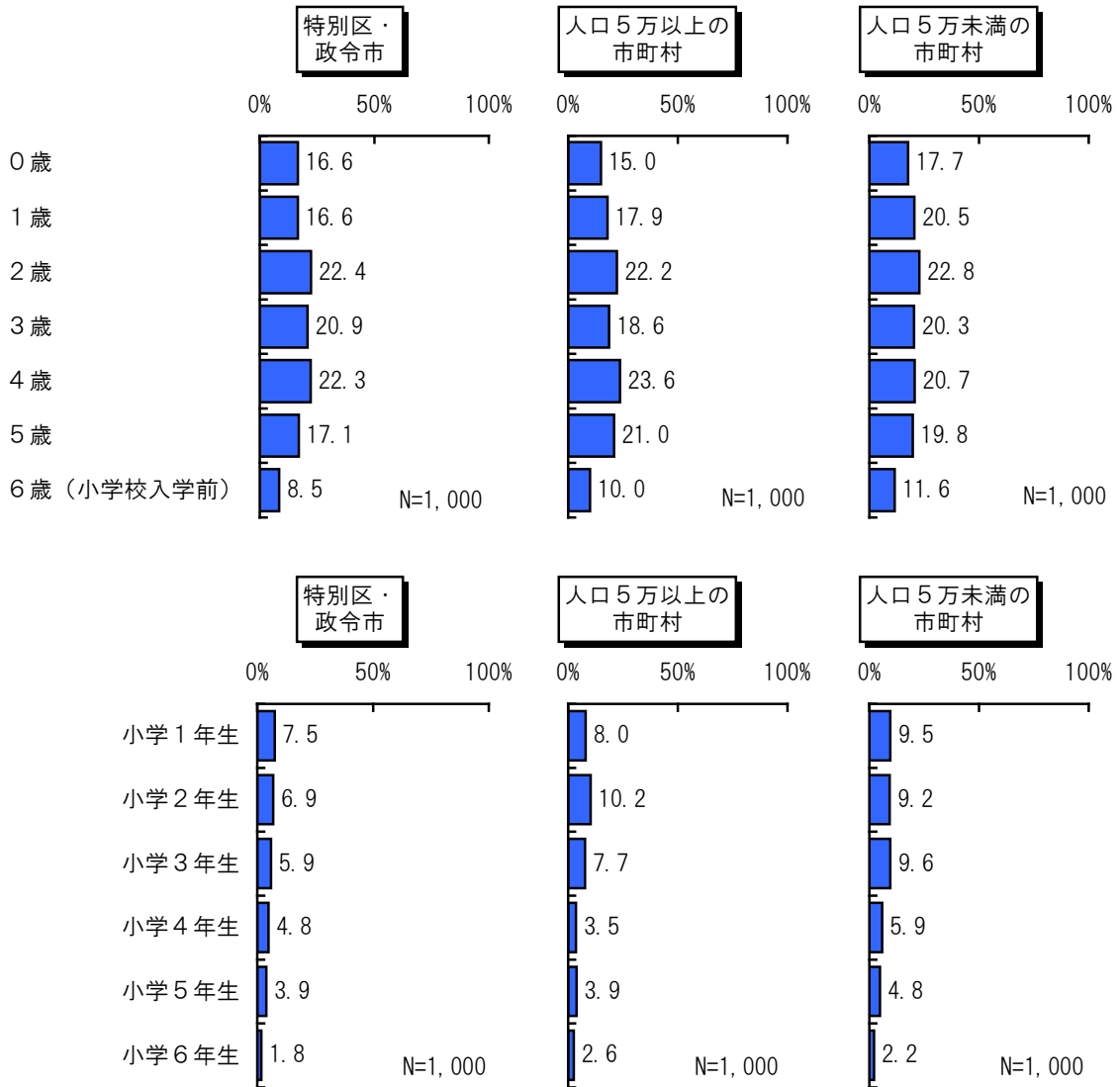
(3) 子どもの年齢 [F 3]

同居の子どもの年齢をお答えください。(平成 24 年 4 月 1 日時点) (〇はいくつでも)



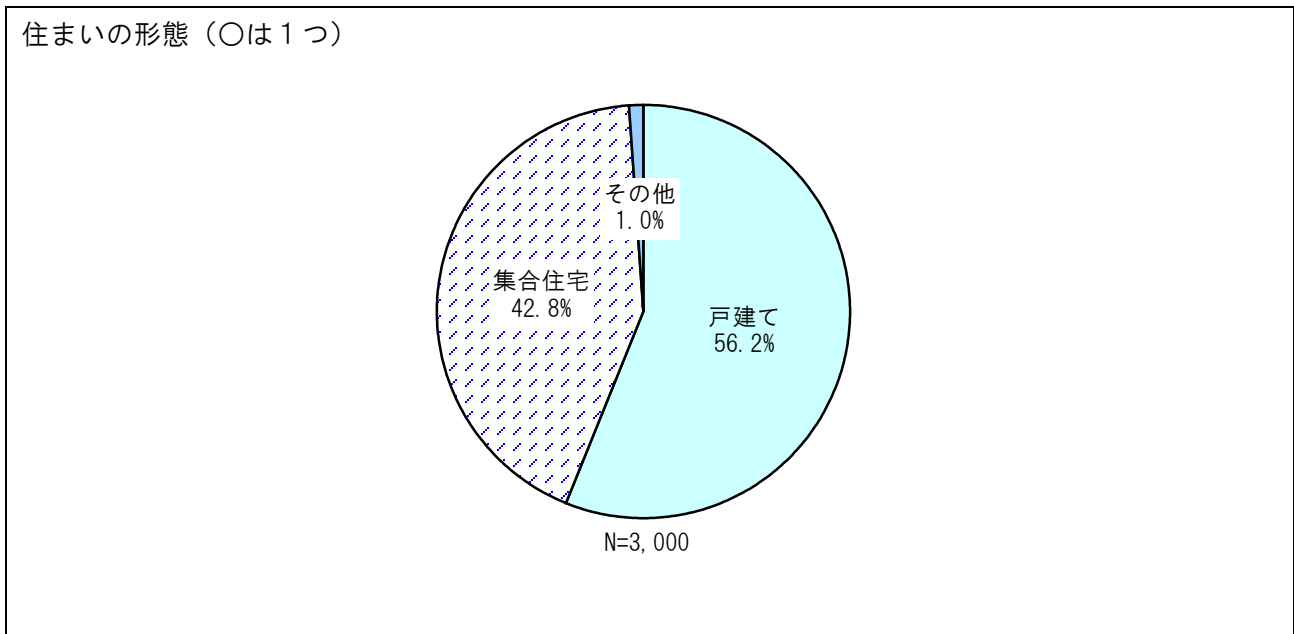
子どもの年齢は、「3～6歳」が64.5%と最も多く、次いで「0～2歳」が53.0%、「小学1～3年」が23.5%、「小学4～6年」が10.4%となっています。

◆ 人口規模別 ◆



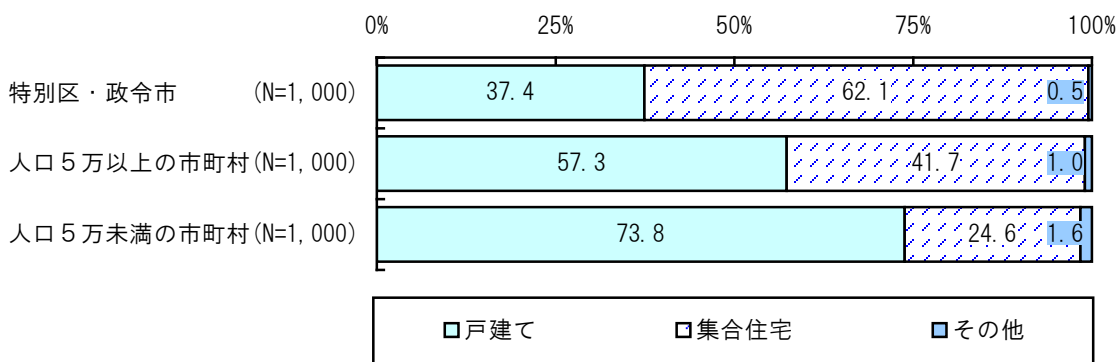
人口規模別にみると、人口5万未満の市町村は「1歳」～「5歳」が2割前後となっています。

(4) 住居の形態 [F 4]



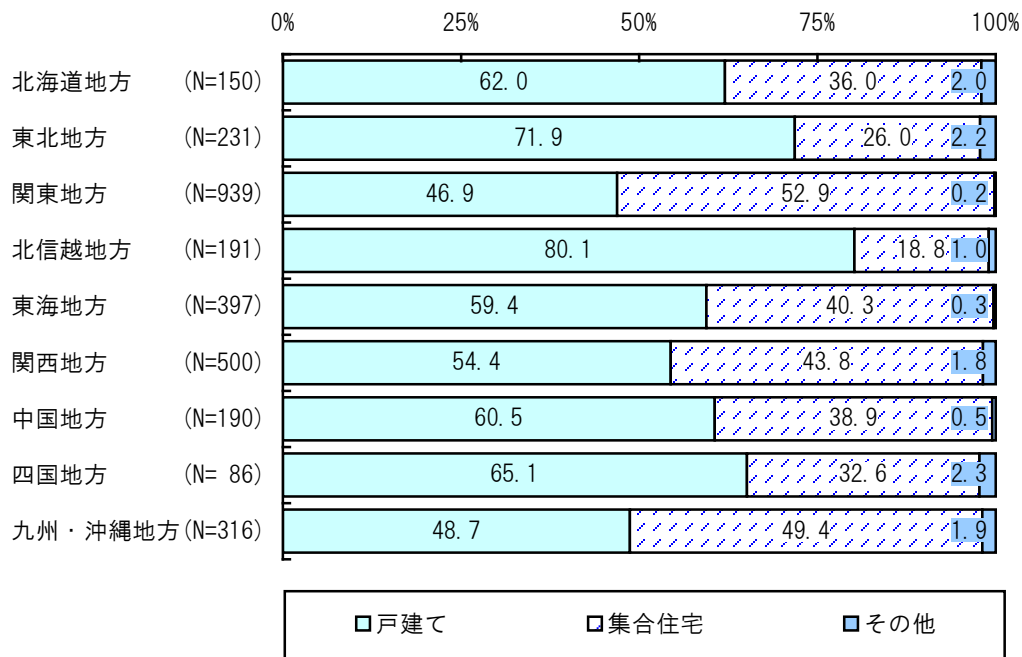
住居の形態は、「戸建て」が 56.2%、「集合住宅」が 42.8%となっています。

◆ 人口規模別 ◆



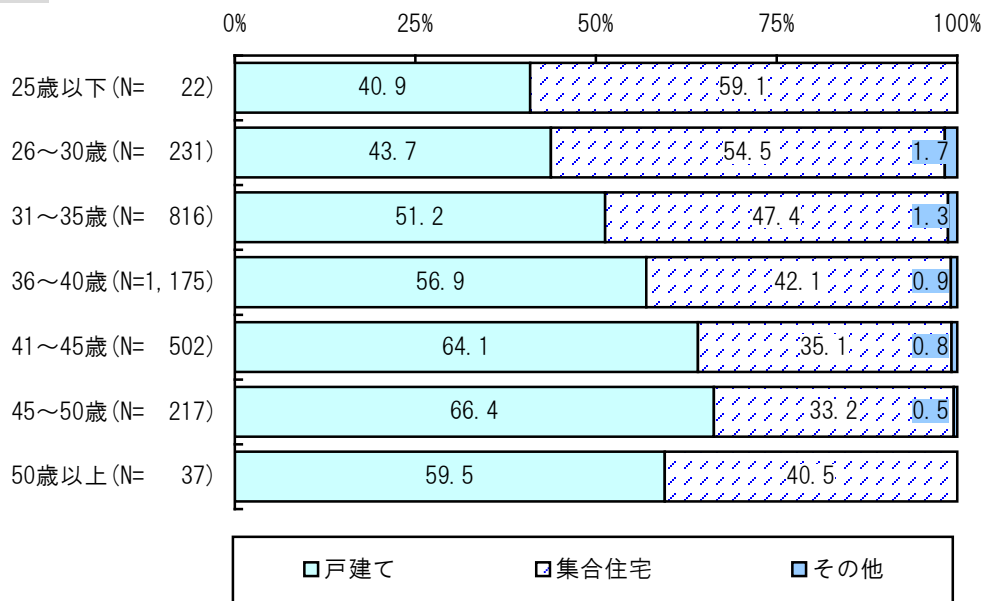
人口規模別にみると、「戸建て」は人口5万未満の市町村が 73.8%と最も多く、次いで人口5万以上の市町村が 57.3%、特別区・政令市が 37.4%と、人口規模が小さいほど多くなっています。

◆ 地方別 ◆



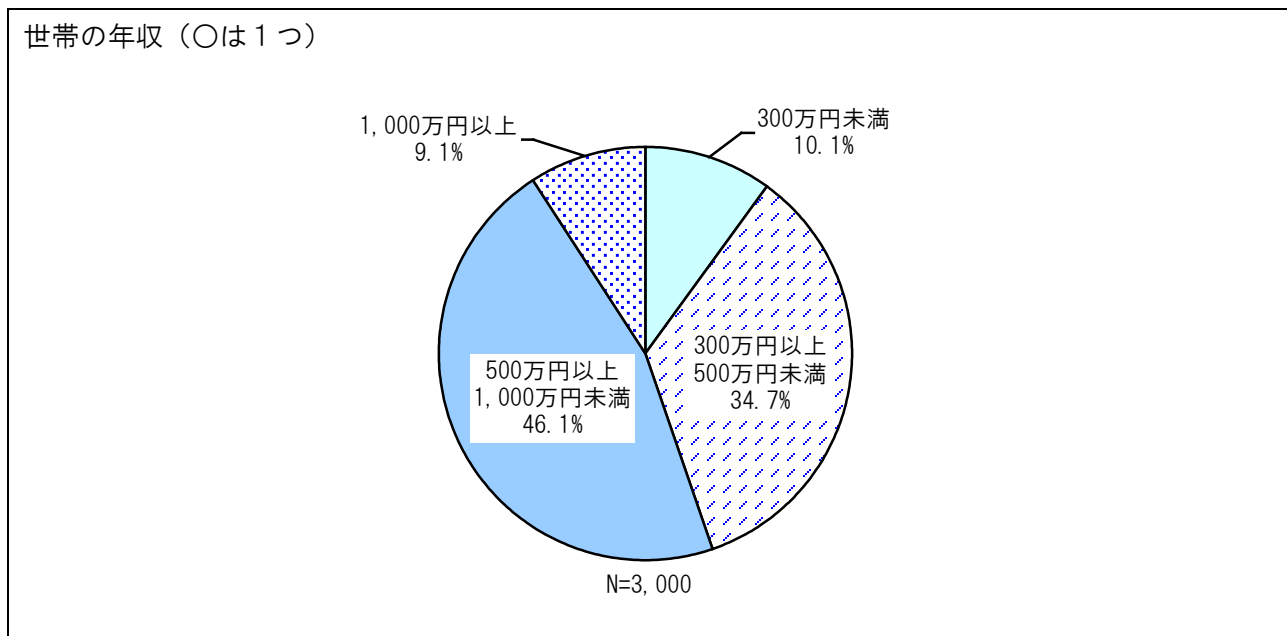
地方別にみると、「戸建て」は北信越地方が 80.1%と多く、次いで東北地方が 71.9%、四国地方が 65.1% などとなっています。「集合住宅」は関東地方が 52.9%と多く、次いで九州・沖縄地方が 49.4%、関西地方が 43.8%などとなっています。

◆ 年齢別 ◆



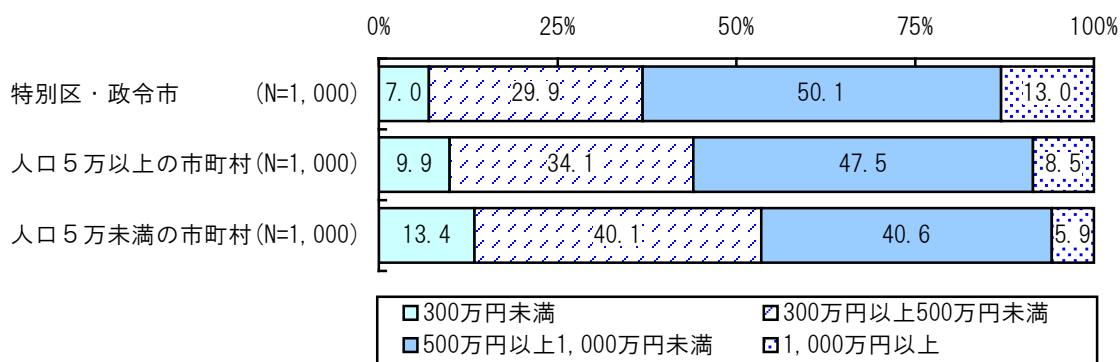
年齢別にみると、「戸建て」は 41～50 歳で 6 割を超えています。「集合住宅」は年齢が低い方が多く、30 歳以下では 5 割を超えています。

(5) 世帯年収 [F 5]



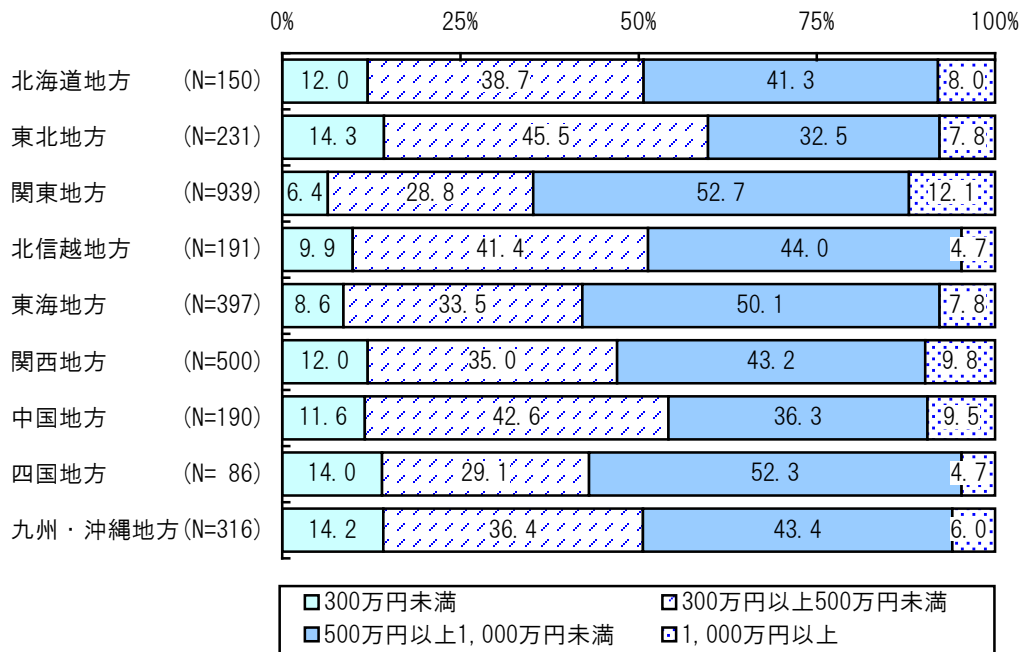
世帯年収は、「500万円以上1,000万円未満」が46.1%と最も多く、次いで「300万円以上500万円未満」が34.7%、「300万円未満」が10.1%、「1,000万円以上」が9.1%となっています。

◆ 人口規模別 ◆



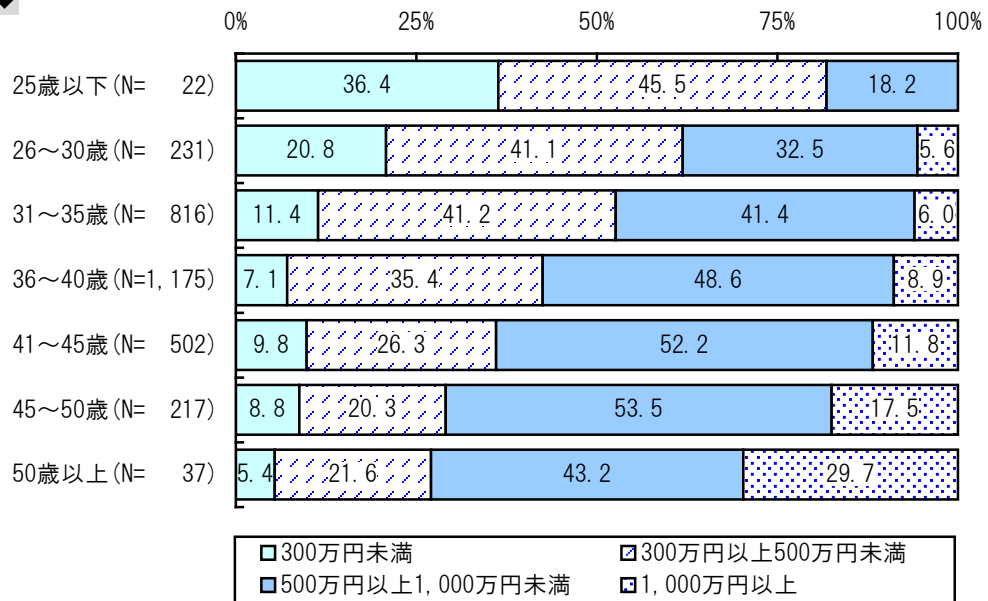
人口規模別にみると、「500万円以上1,000万円未満」は特別区・政令市が50.1%と多く、次いで人口5万以上の市町村が47.5%、人口5万未満の市町村が40.6%となっており、人口規模が大きいほど世帯の年収が多くなっています。

◆ 地方別 ◆



地方別にみると、「500万円以上1,000万円未満」は関東地方が52.7%、四国地方が52.3%、東海地方が50.1%と、いずれも5割を超えています。

◆ 年齢別 ◆



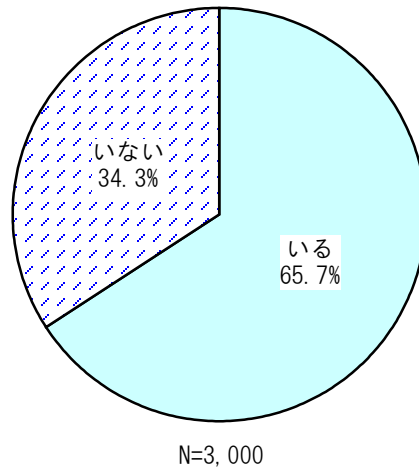
年齢別にみると、「500万円以上1,000万円未満」や「1,000万円以上」は年齢が高いほど多い傾向にあります。

2 子育て環境について

(6) 子育て環境 [問1]

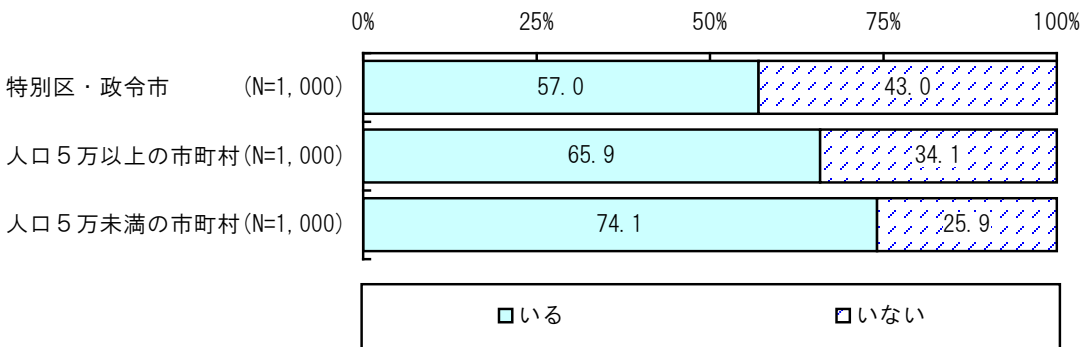
子育て環境について、次の事項をお答えください。

(1) 自宅から30分以内で行けるとところに親族が住んでいますか。(○は1つ)



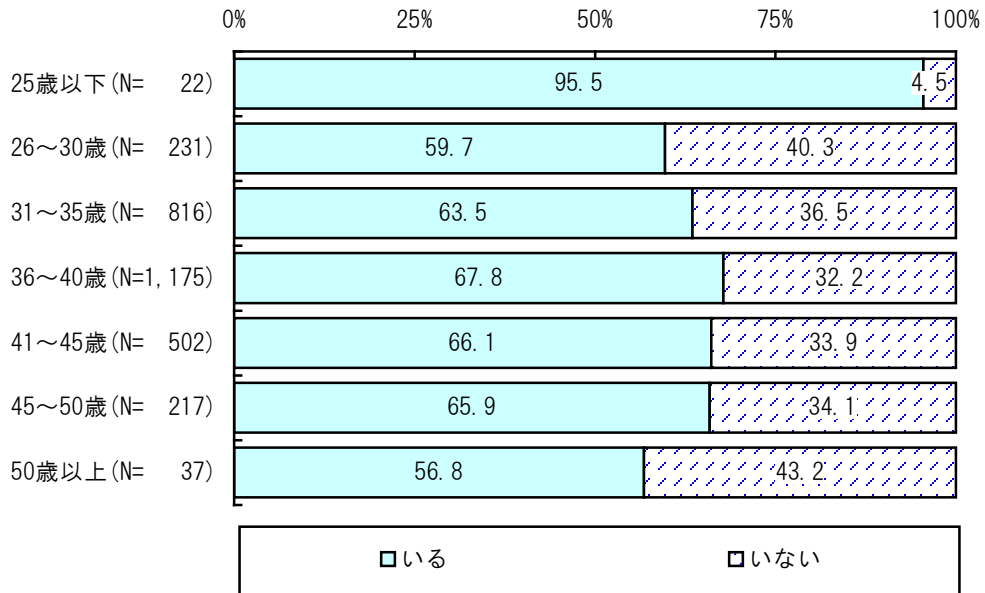
自宅から30分以内で行けるとところに親族が住んでいるかは、「いる」が65.7%、「いない」が34.3%となっています。

◆ 人口規模別 ◆



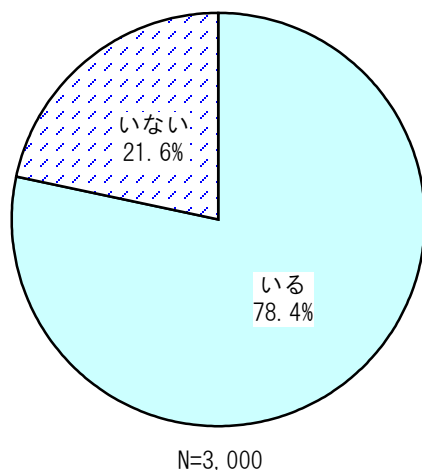
人口規模別にみると、「いる」は人口5万未満の市町村が74.1%と多く、次いで人口5万以上の市町村が65.9%、特別区・政令市が57.0%となっており、人口規模が小さいほど自宅から30分以内で行けるとところに親族が住んでいます。

◆ 年齢別 ◆



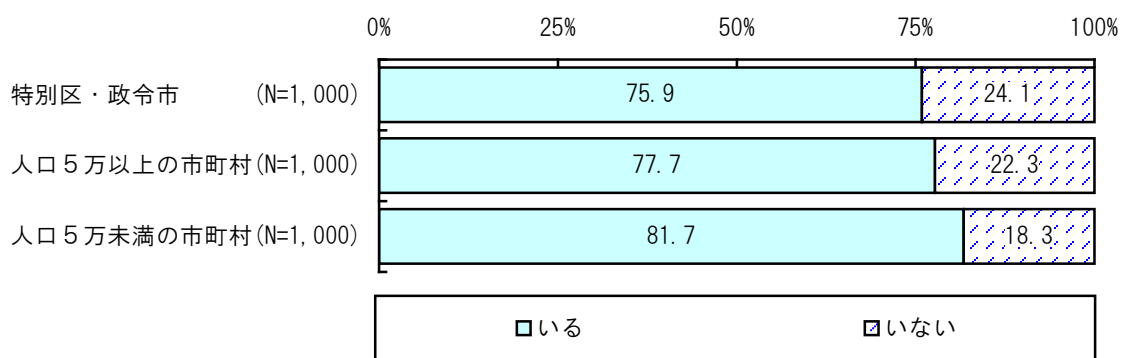
年齢別にみると、「いる」は26～50歳で6割前後となっています。

(2) 緊急時にお子様を預かってくれる親族、友人・知人等はいますか。(〇は1つ)



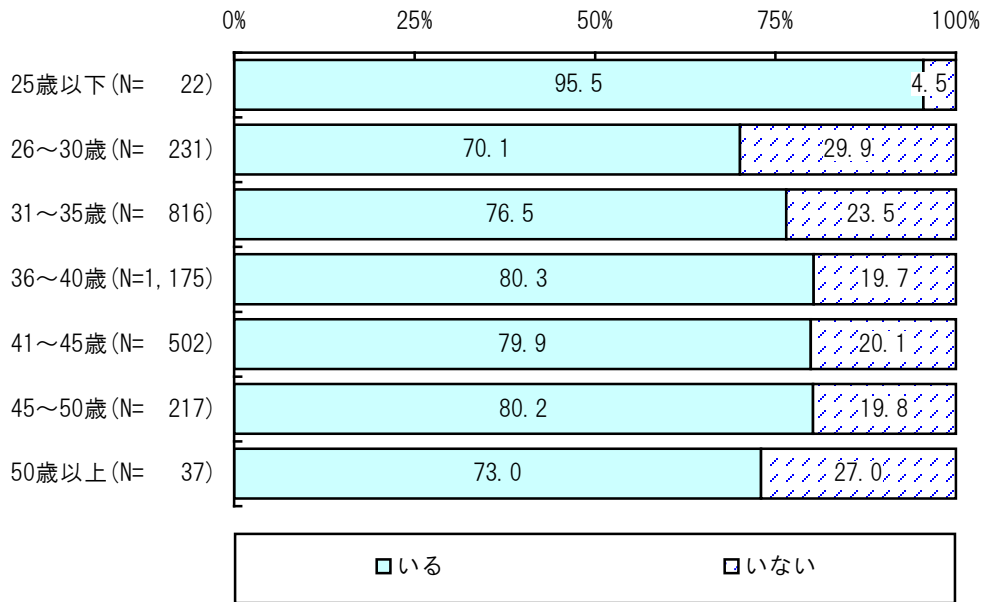
緊急時にお子様を預かってくれる親族、友人・知人等はいるか、は、「いる」が 78.4%、「いない」が 21.6%となっています。

◆ 人口規模別 ◆



人口規模別にみると、「いる」は人口5万未満の市町村が 81.7%と多く、次いで人口5万以上の市町村が 77.7%、特別区・政令市が 75.9%と、人口規模が小さいほど緊急時に子どもを預かってくれる親族、友人・知人等がいます。

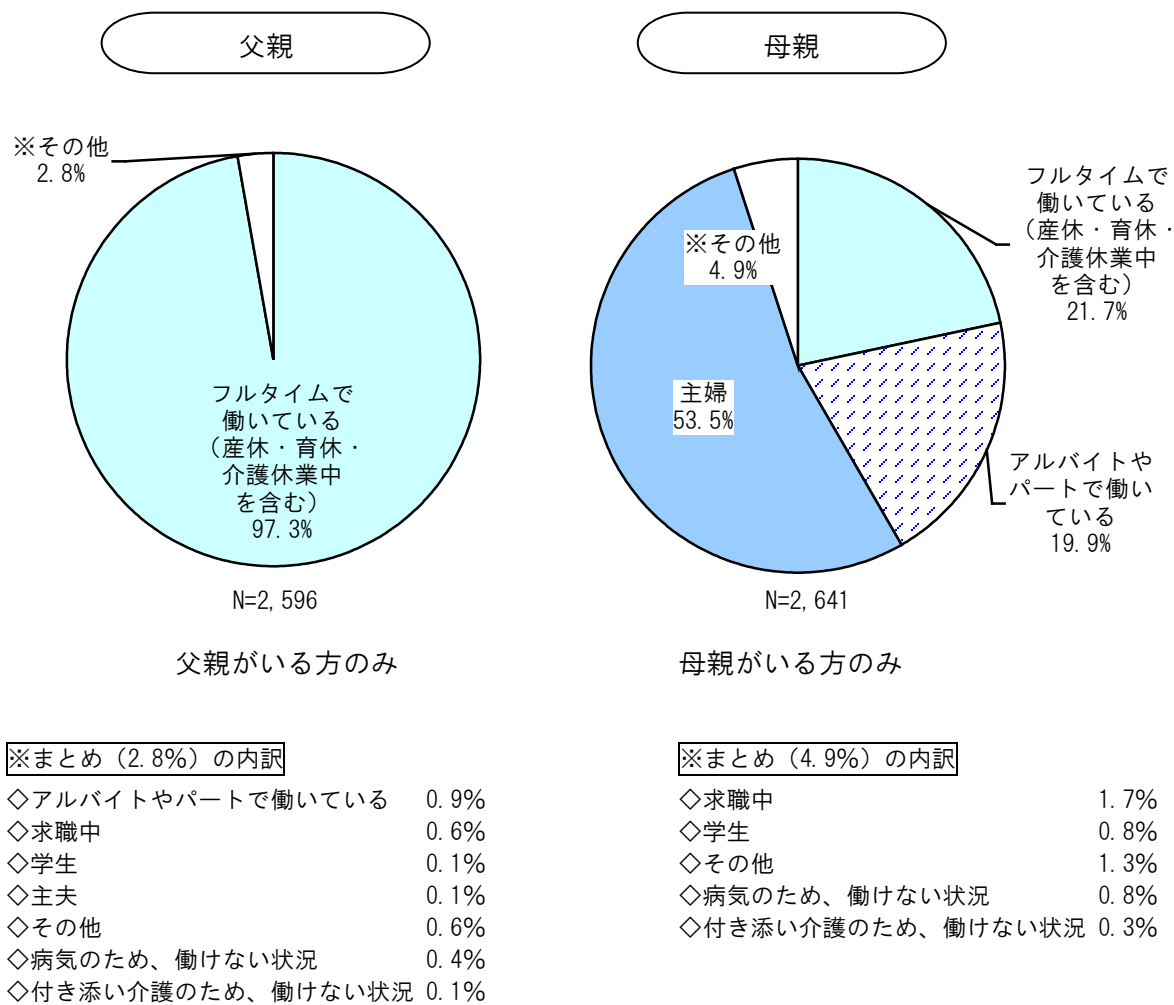
◆ 年齢別 ◆



年齢別にみると、「いる」は36～50歳で8割前後となっています。

(7) 父母の就労状況 [問2]

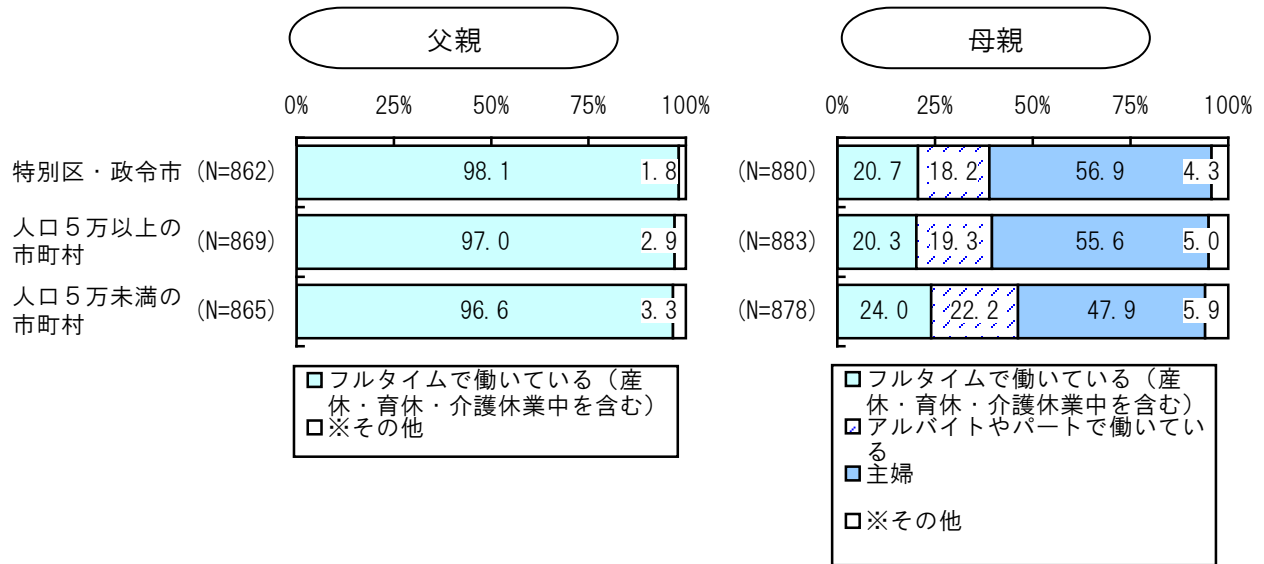
子どもの保護者（親）の現在の就労状況を教えてください。（○は1つ）



父親の就労状況は、「フルタイムで働いている（産休・育休・介護休業中を含む）」が97.3%と、9割を超えています。

母親の就労状況は、「主婦」が53.5%と最も多く、次いで「フルタイムで働いている（産休・育休・介護休業中を含む）」が21.7%、「アルバイトやパートで働いている」が19.9%などとなっています。

◆ 人口規模別 ◆

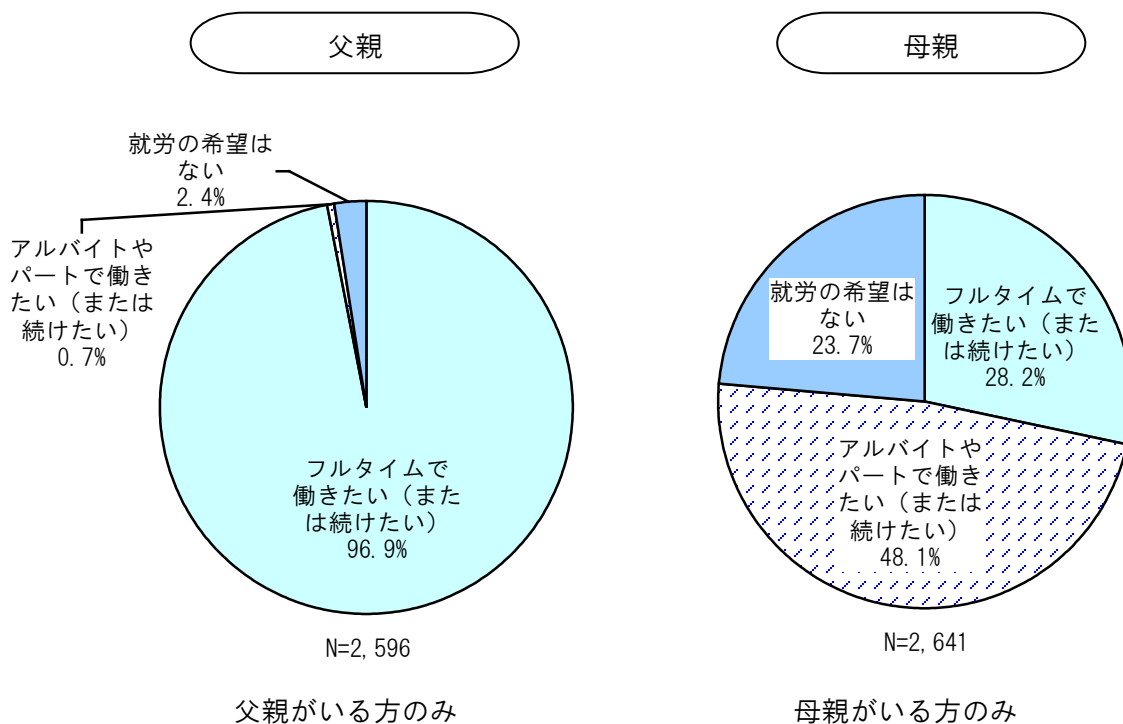


人口規模別に母親の就労状況をみると、「フルタイムで働いている（産休・育休・介護休業中を含む）」は人口5万未満の市町村が24.0%と、他の人口規模よりも多くなっています。「主婦」は特別区・政令市が56.9%、人口5万以上の市町村が55.6%と、いずれも5割を超えています。

父親の就労状況での、大きな差異はみられません。

(8) 父母の就労意向 [問3]

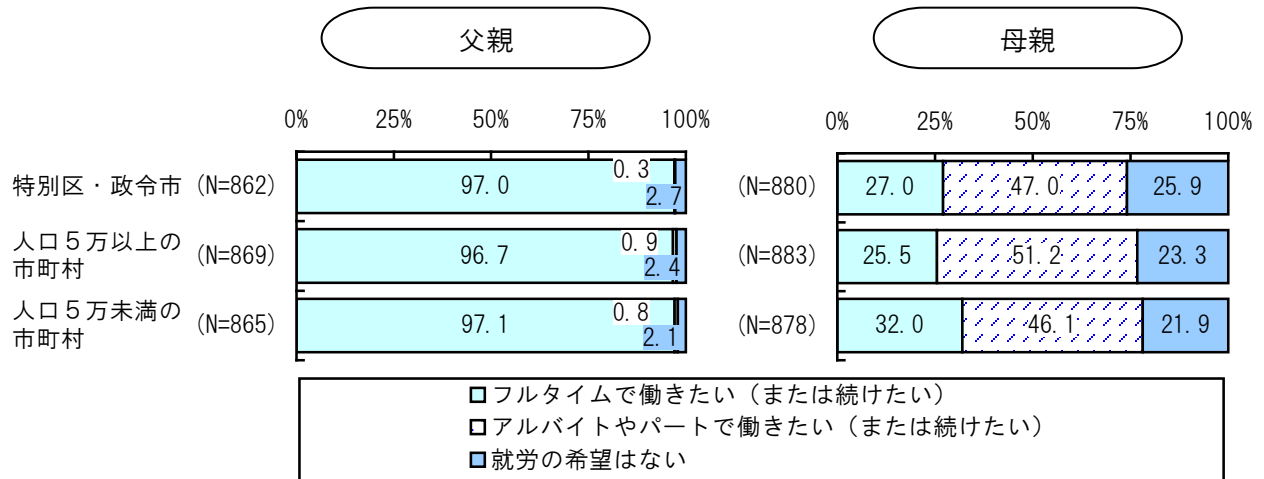
子どもの保護者（親）の希望する就労形態を教えてください。（○は1つ）



父親が希望する就労形態は、「フルタイムで働きたい（または続けたい）」が96.9%と、9割を超えています。

母親が希望する就労形態は、「アルバイトやパートで働きたい（または続けたい）」が48.1%と最も多く、次いで「フルタイムで働きたい（または続けたい）」が28.2%、「就労の希望はない」が23.7%となっています。

◆ 人口規模別 ◆

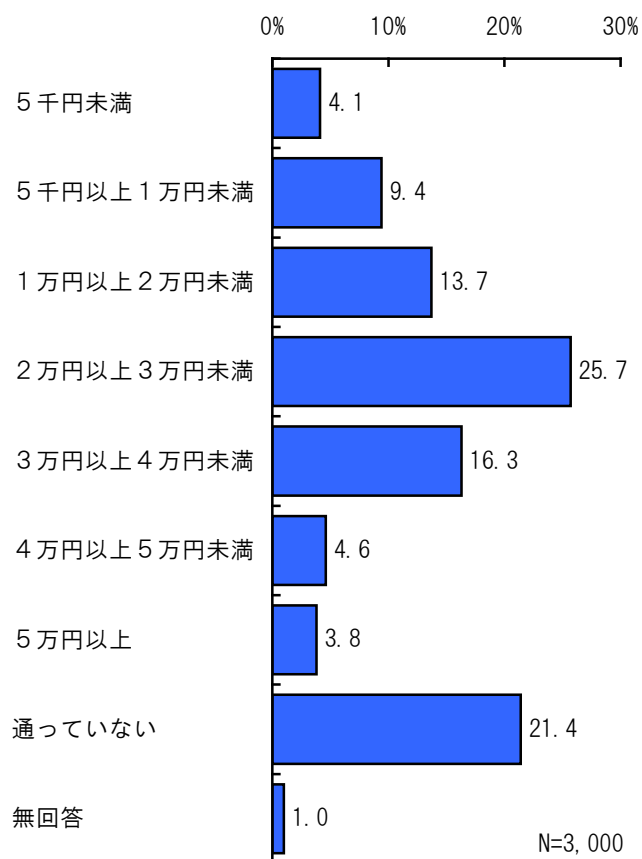


人口規模別に母親が希望する就労形態をみると、「フルタイムで働きたい (または続けたい)」は人口5万未満の市町村が32.0%と、他の人口規模よりも多くなっています。

父親が希望する就労形態での、大きな差異はみられません。

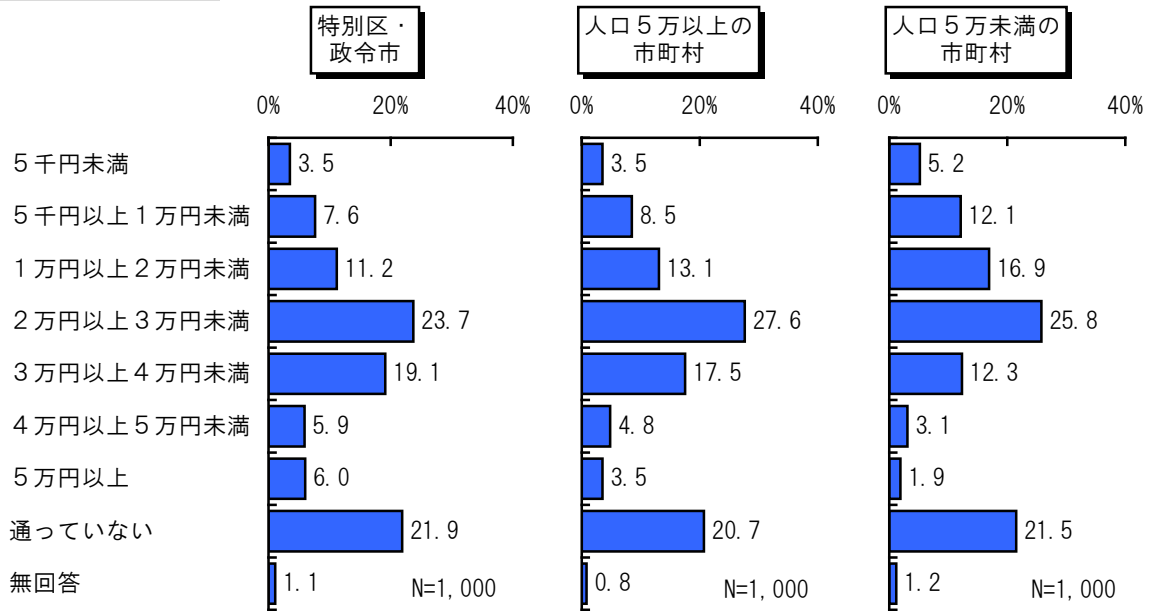
(9) 月平均保育料 [問4]

お子様ひとりにかかる、1か月の平均的な保育料（保育所・幼稚園に係る費用）はどのくらいですか。
(○は1つ)



月平均保育料は、「2万円以上3万円未満」が25.7%と多く、次いで「3万円以上4万円未満」が16.3%、「1万円以上2万円未満」が13.7%などとなっています。一方、「通っていない」は21.4%となっています。

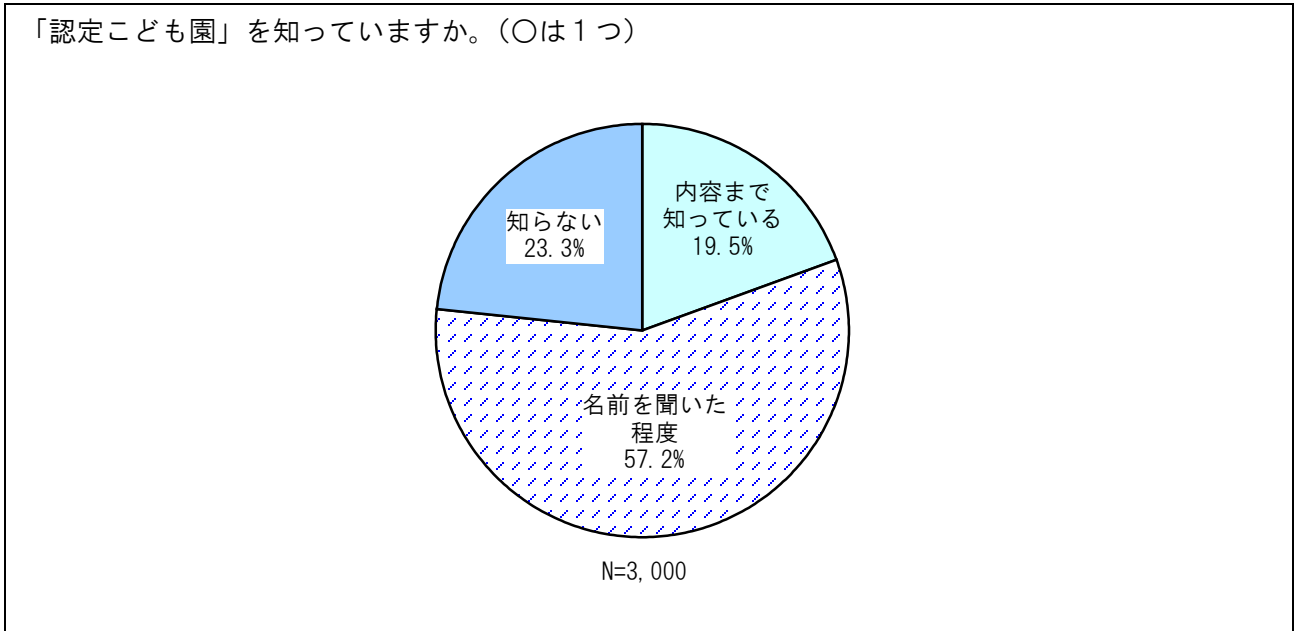
◆ 人口規模別 ◆



人口規模別にみると、特別区・政令市と人口5万以上の市町村は「2万円以上4万円未満」が多くなっています。人口5万未満の市町村は「1万円以上3万円未満」が多くなっています。

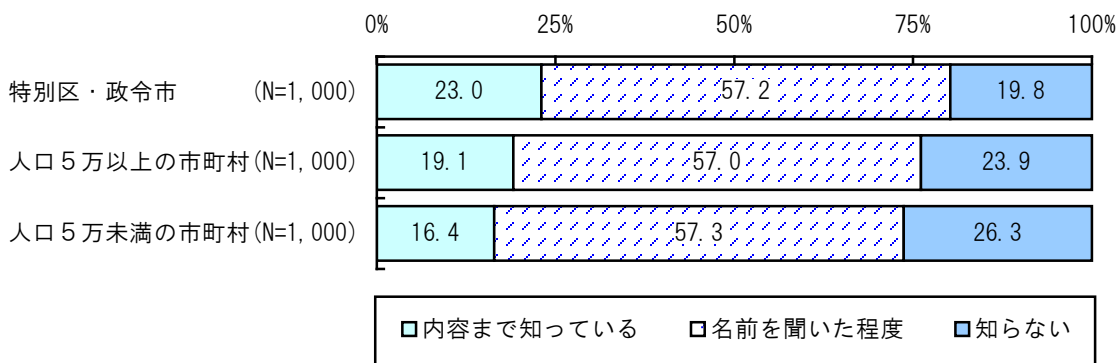
3 認定こども園について

(10) 「認定こども園」の認知 [問5]



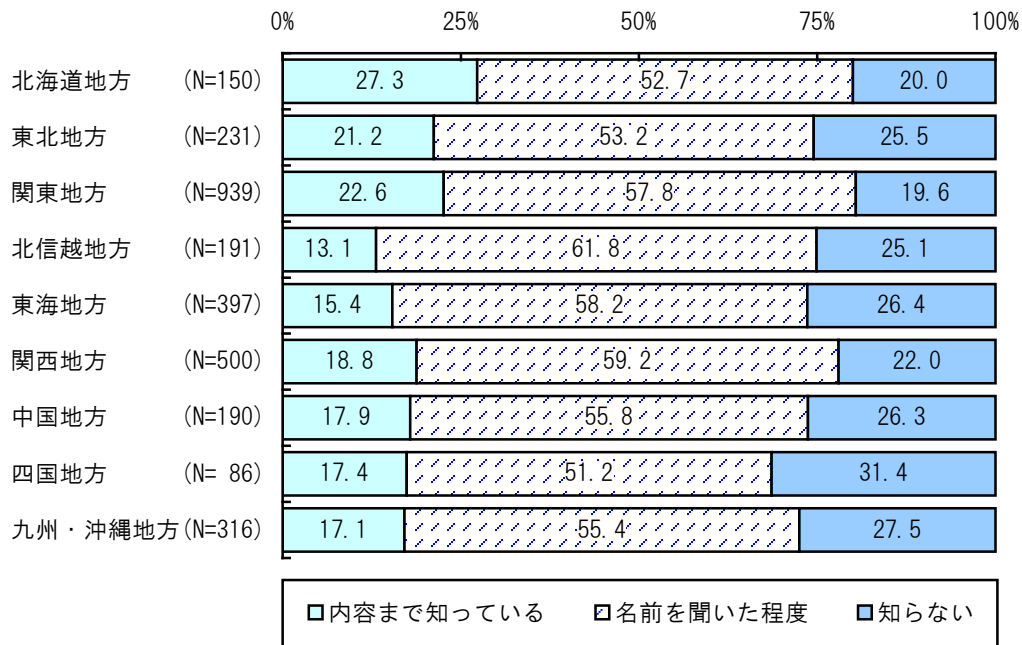
「認定こども園」の認知は、「名前を聞いた程度」が 57.2%と最も多く、次いで「知らない」が 23.3%、「内容まで知っている」が 19.5%となっています。

◆ 人口規模別 ◆



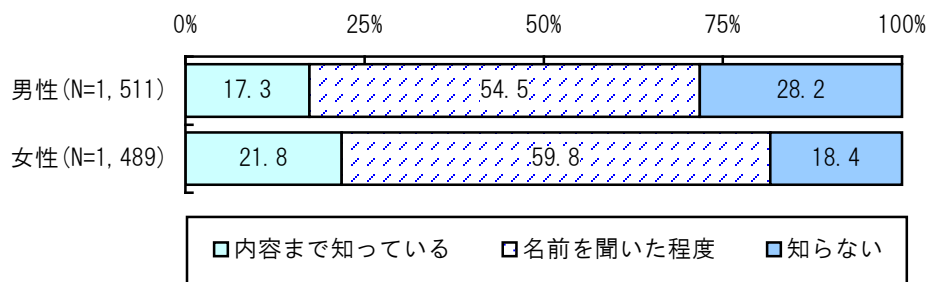
人口規模別にみると、「内容まで知っている」は特別区・政令市が 23.0%と多く、次いで人口5万以上の市町村が 19.1%、人口5万未満の市町村が 16.4%となっており、人口規模が大きいほど認知度が高くなっています。

◆ 地方別 ◆



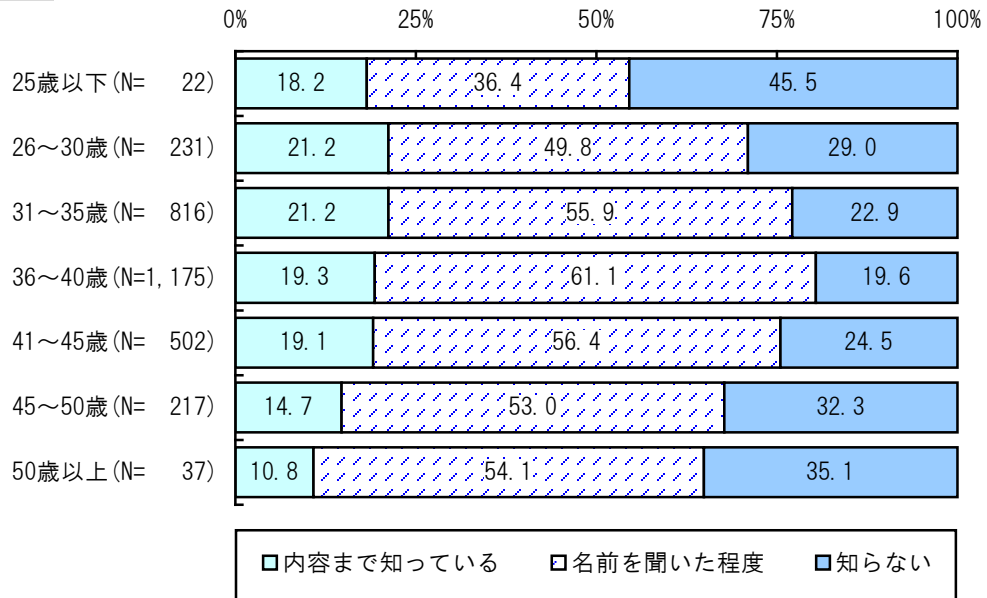
地方別にみると、「内容まで知っている」は北海道地方が27.3%、関東地方が22.6%、東北地方が21.2%と、いずれも2割を超えています。

◆ 性別 ◆



性別にみると、「知らない」は男性が28.2%、女性が18.4%と、男性の方が認知度が低くなっています。

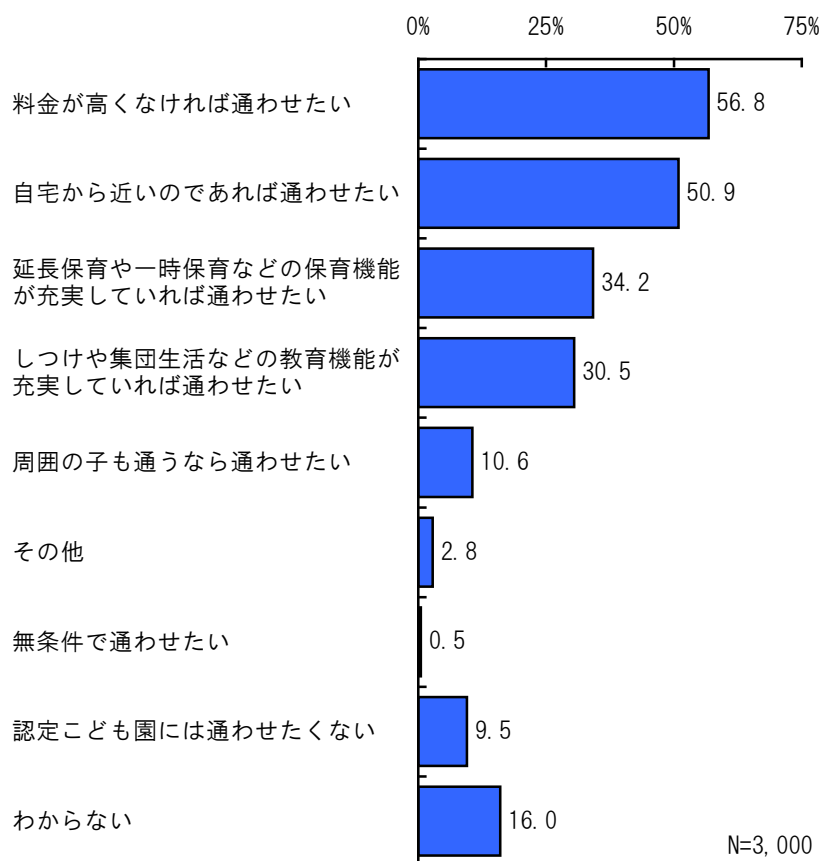
◆ 年齢別 ◆



年齢別にみると、「内容まで知っている」は26～45歳で2割前後となっています。

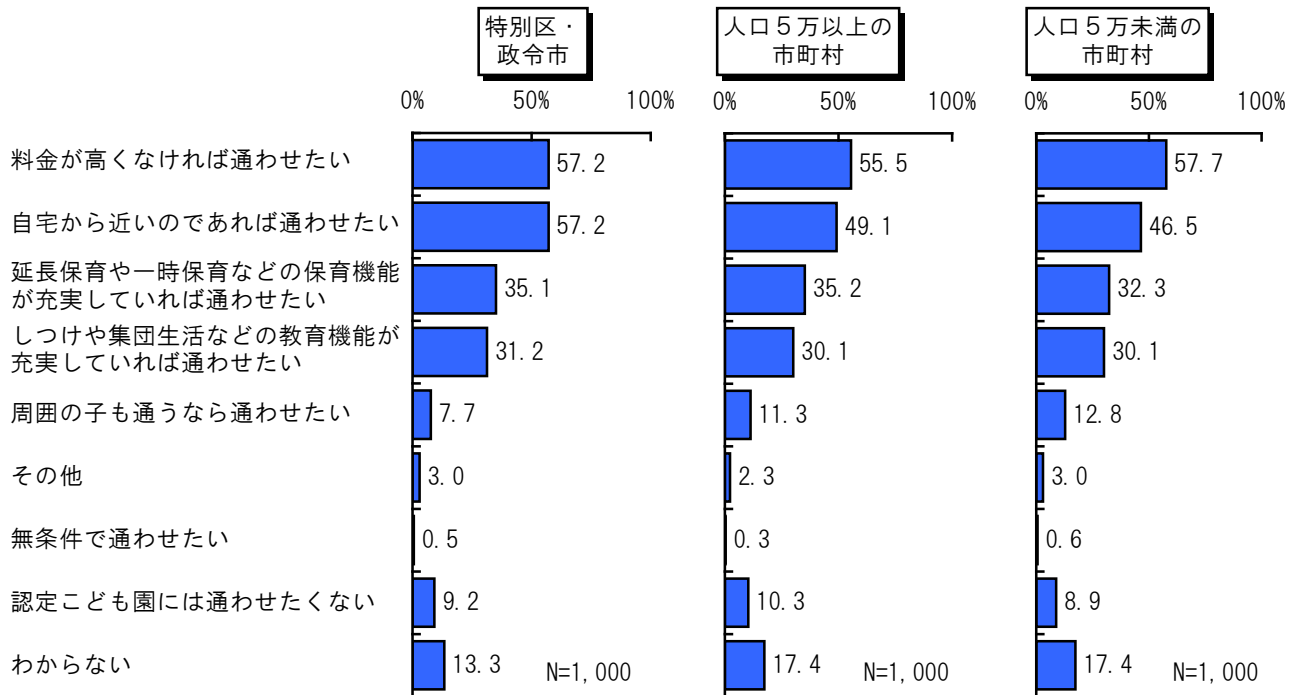
(11) 「認定こども園」の通園意向 [問6]

認定こども園があったらお子様を通わせたいですか。お子様が小学生の方も、当時を振り返ってお答えください。 (○はいくつでも)



「認定こども園」の通園意向は、「料金が高くなければ通わせたい」が 56.8%と多く、次いで「自宅から近いのであれば通わせたい」が 50.9%、「延長保育や一時保育などの保育機能が充実していれば通わせたい」が 34.2%、「しつけや集団生活などの教育機能が充実していれば通わせたい」が 30.5%などとなっています。

◆ 人口規模別 ◆



人口規模別にみると、「自宅から近いのであれば通わせたい」は特別区・政令市が 57.2%と多く、次いで人口 5 万以上の市町村が 49.1%、人口 5 万未満の市町村が 46.5%となっており、人口規模が大きいほど多くなっています。

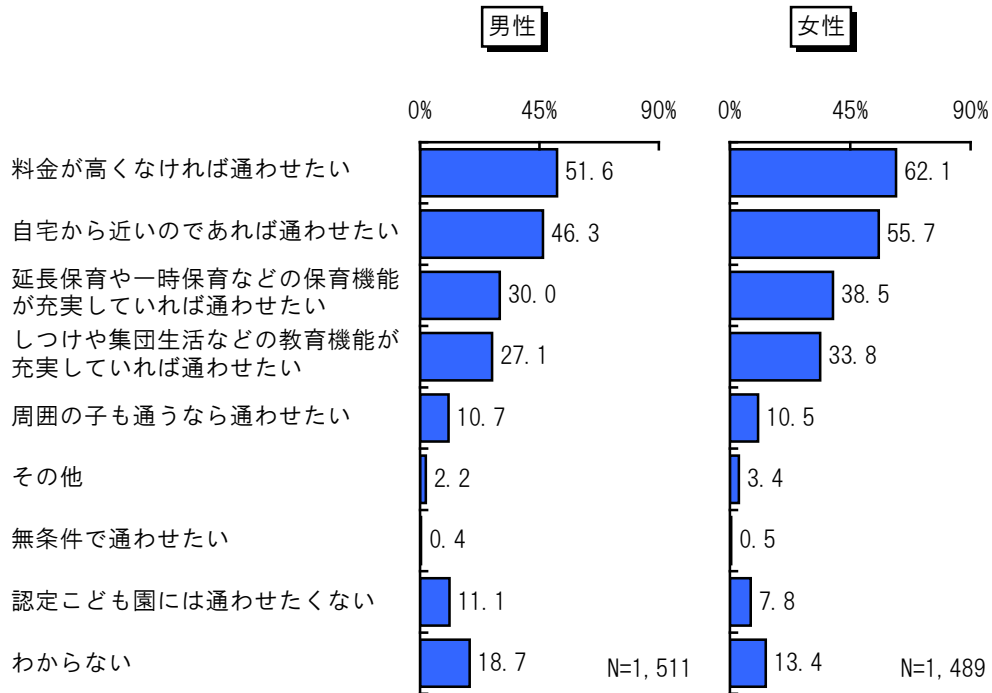
◆ 地方別 ◆

単位：(%)

	調査数	料金が高くなければ通わせたい	自宅から近いのであれば通わせたい	延長保育や一時保育などの保育機能が充実していれば通わせたい	しつけや集団生活などの教育機能が充実していれば通わせたい	周囲の子も通うなら通わせたい	その他	無条件で通わせたい	認定こども園には通わせたくない	わからない
北海道地方	150	61.3	54.7	30.7	21.3	10.7	4.7	-	6.0	15.3
東北地方	231	53.2	48.1	28.6	27.3	10.0	1.7	-	11.3	17.7
関東地方	939	55.9	54.8	35.3	30.2	8.4	2.8	0.7	10.8	14.5
北信越地方	191	51.3	45.0	33.0	30.4	15.7	3.1	-	8.4	23.0
東海地方	397	57.7	50.6	32.5	29.7	15.6	1.3	0.8	8.6	17.6
関西地方	500	55.0	50.4	33.6	31.4	12.4	3.0	0.2	10.8	15.2
中国地方	190	60.0	46.8	37.9	33.2	9.5	3.7	1.1	6.8	17.4
四国地方	86	57.0	40.7	27.9	25.6	10.5	1.2	-	9.3	19.8
九州・沖縄地方	316	63.0	49.7	40.2	37.0	6.0	3.8	0.3	7.3	13.0

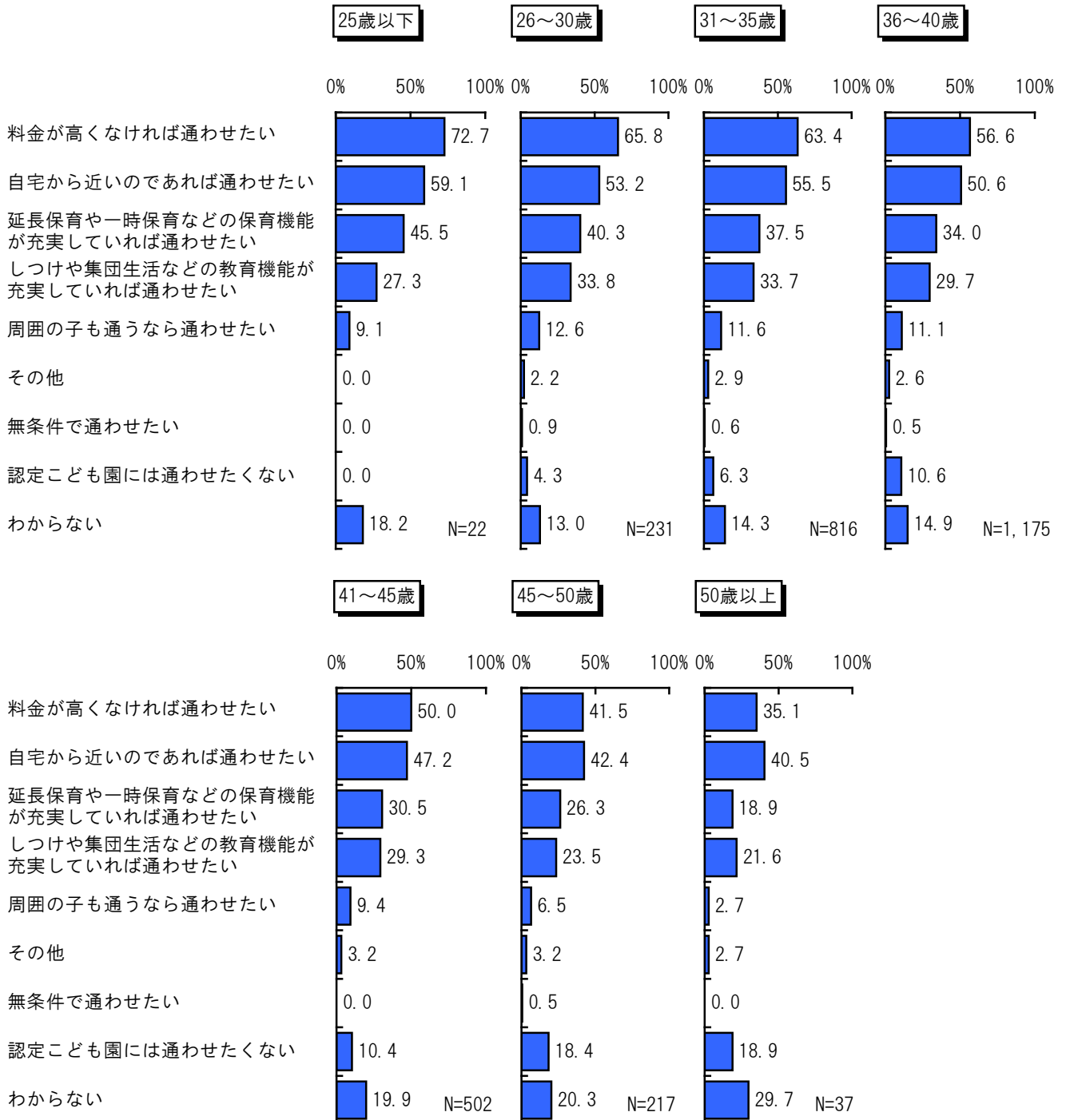
地方別にみると、「料金が高くなければ通わせたい」は九州・沖縄地方が63.0%、北海道地方が61.3%、中国地方が60.0%と、いずれも6割を超えています。「自宅から近いのであれば通わせたい」は関東地方と北海道地方が多くなっています。「延長保育や一時保育などの保育機能が充実していれば通わせたい」は九州・沖縄地方が40.2%と、他の地方よりも多くなっています。

◆ 性別 ◆



性別にみると、「料金が高くなければ通わせたい」は女性が 62.1%、男性が 51.6%と、女性の方が 10.5 ポイント高くなっています。

◆ 年齢別 ◆



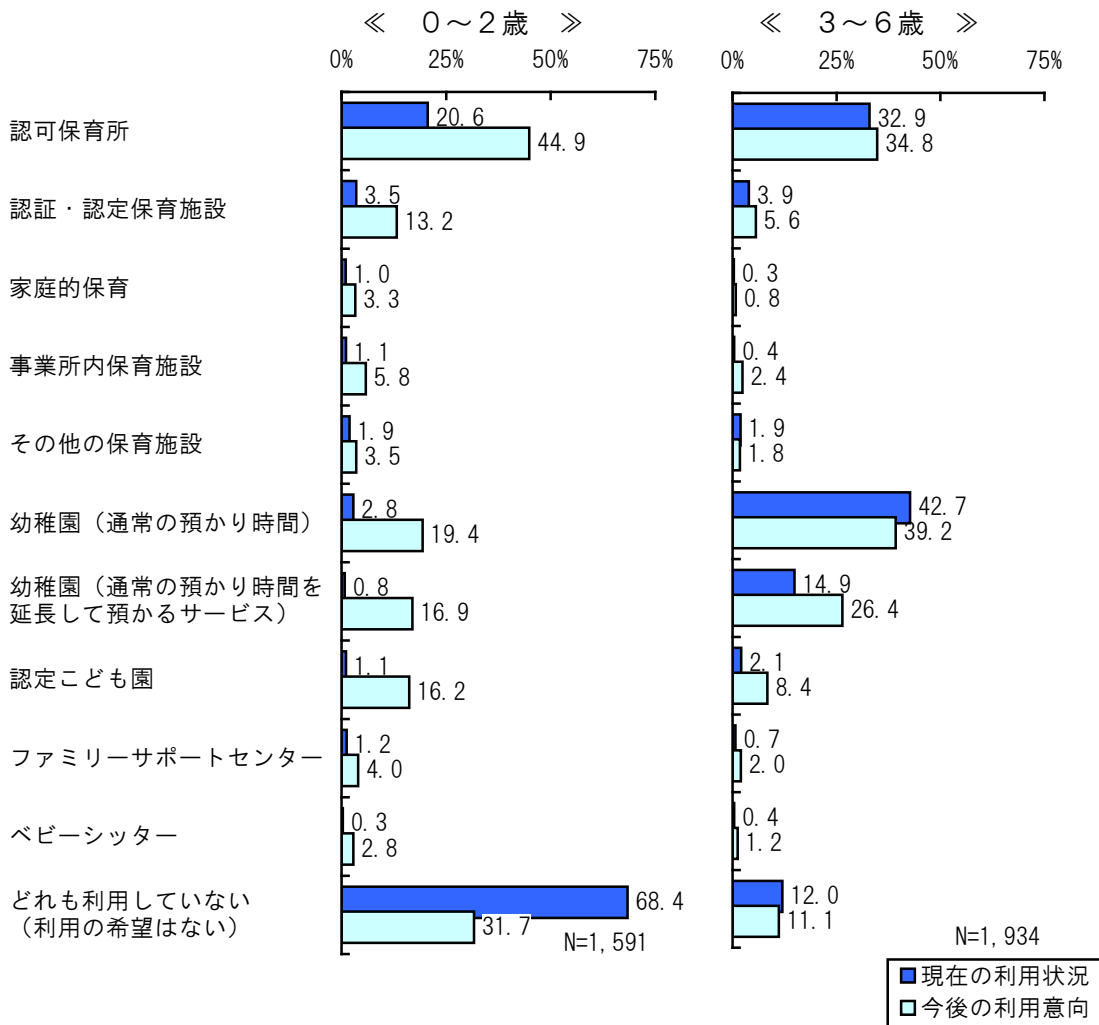
年齢別にみると、「料金が高くなければ通わせたい」、「自宅から近いのであれば通わせたい」、「延長保育や一時保育などの保育機能が充実していれば通わせたい」は年齢が低いほど多い傾向にあります。

●○ 就学前のお子様について ○●

4 保育・教育サービスについて

(12) 現在の日中の定期的保育利用状況、今後の利用意向 [問7、問14]

お子様は現在、日中の定期的保育サービスを利用していますか。また、今後希望したい（または続けたい）保育サービスはありますか。※「希望」については、現行の利用条件などは考えずに、利用できるならという視点でお答えください。（○はいくつでも）

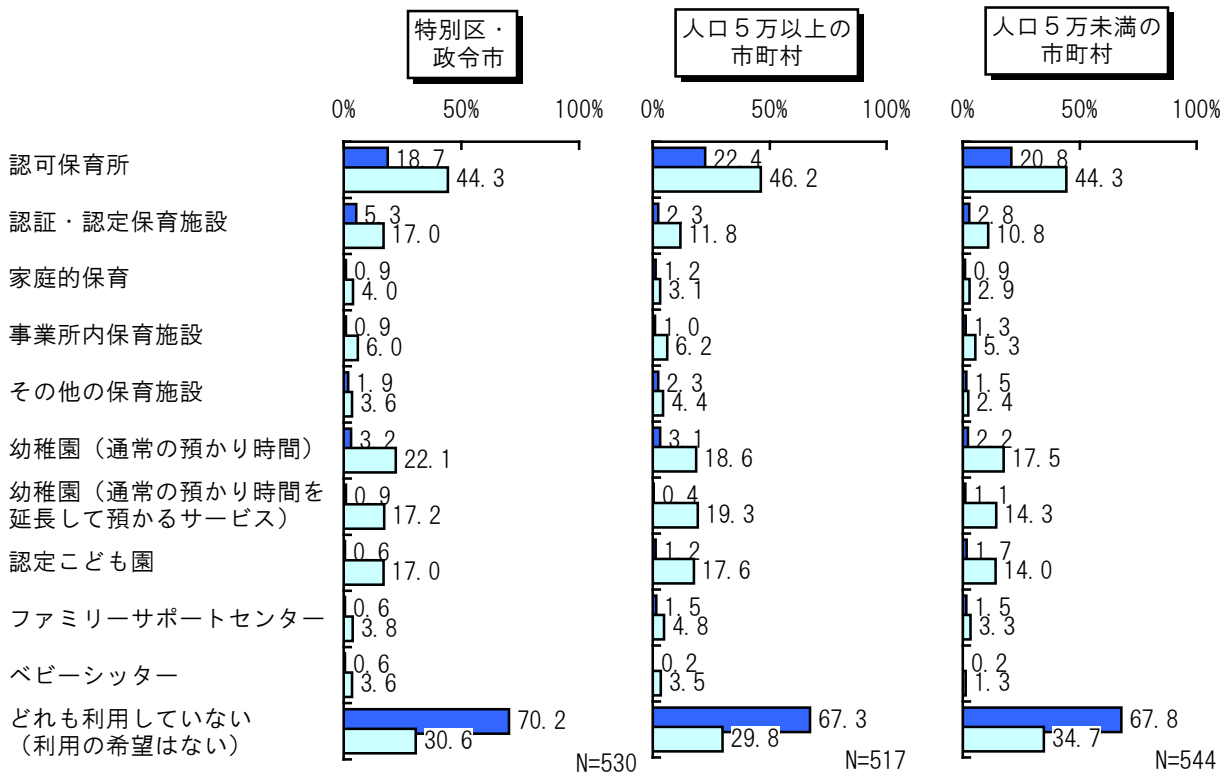


0～2歳の現在の利用状況は、「どれも利用していない」が68.4%と最も多くなっています。利用している中では、「認可保育所」が20.6%と最も多くなっています。今後の利用意向は、「認可保育所」が44.9%と最も多く、次いで「幼稚園（通常の預かり時間）」が19.4%、「幼稚園（通常の預かり時間を延長して預かるサービス）」が16.9%などとなっています。

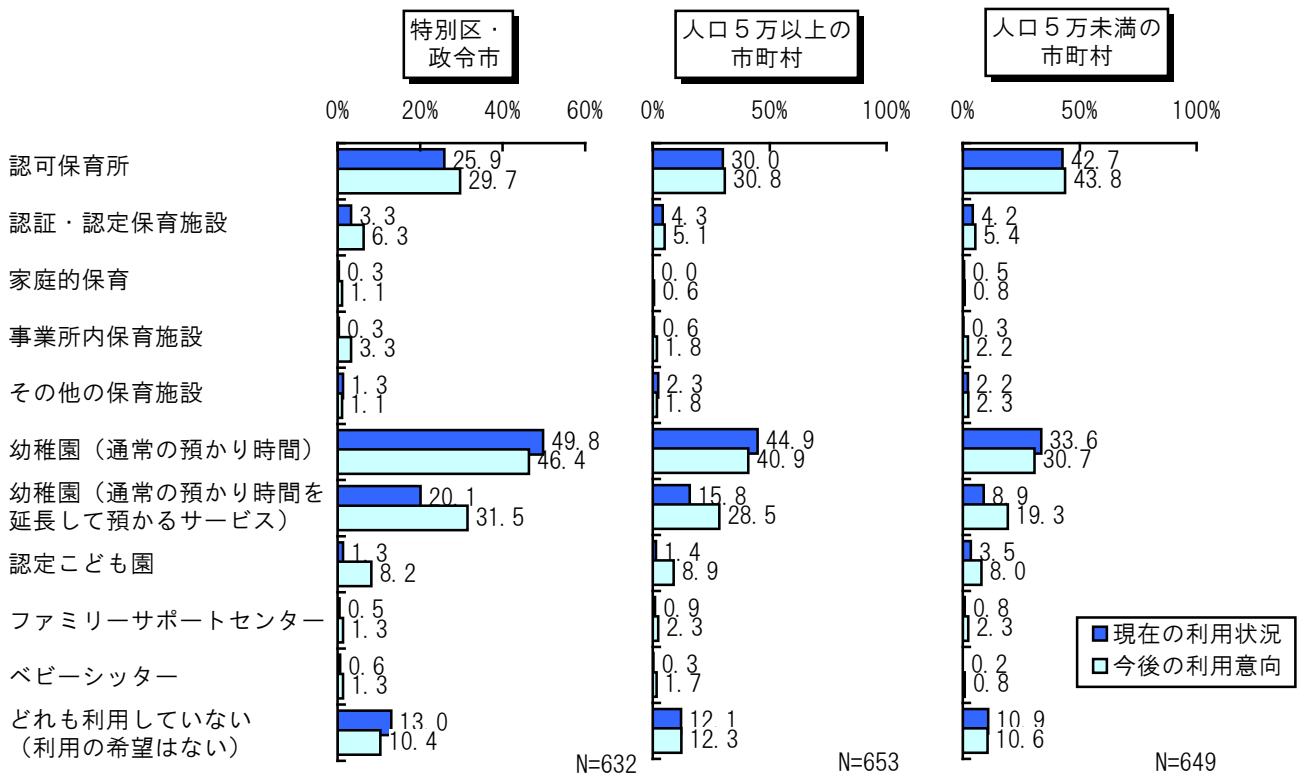
3～6歳の現在の利用状況は、「幼稚園（通常の預かり時間）」が42.7%と最も多く、次いで「認可保育所」が32.9%、「幼稚園（通常の預かり時間を延長して預かるサービス）」が14.9%などとなっています。今後の利用意向は、「幼稚園（通常の預かり時間）」の39.2%と、「認可保育所」34.8%が3割を超えています。

◆ 人口規模別 ◆

《 0～2歳 》



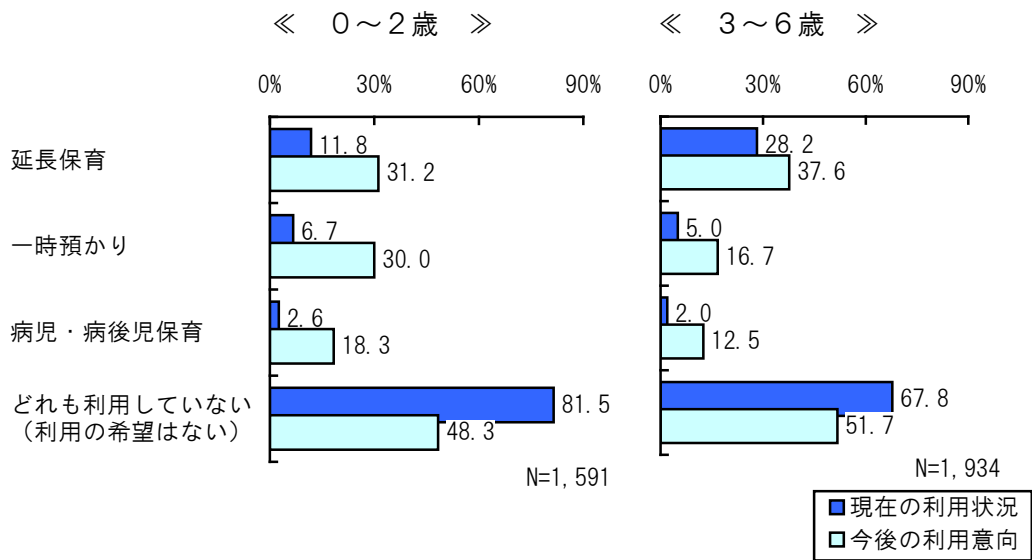
《 3～6歳 》



人口規模別にみると、0～2歳はいずれの規模も「認可保育所」、「認証・認定保育施設」、「幼稚園（通常の預かり時間）」、「幼稚園（通常の預かり時間を延長して預かるサービス）」、「認定こども園」などの利用希望が多くなっています。

(13) 現在の日中の定期的保育以外の利用状況、今後の利用意向 [問8、問15]

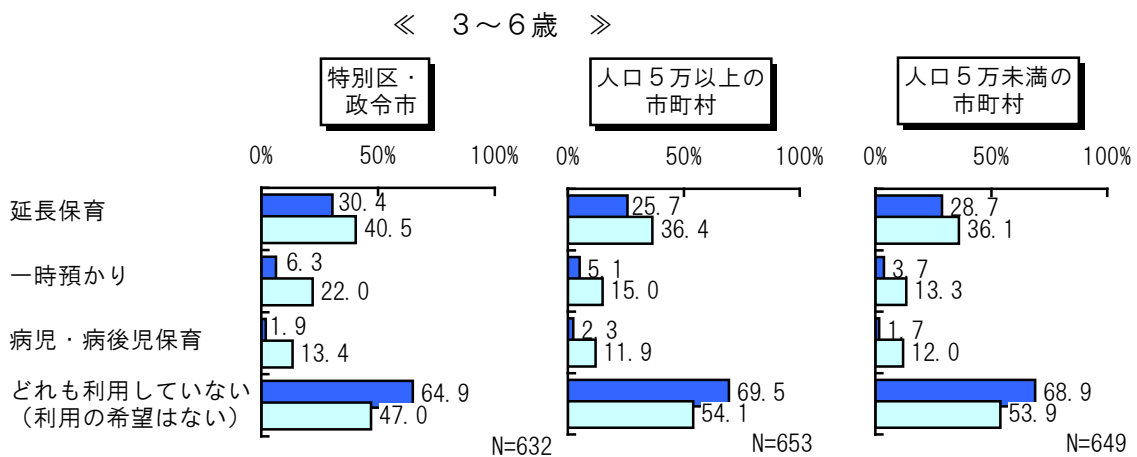
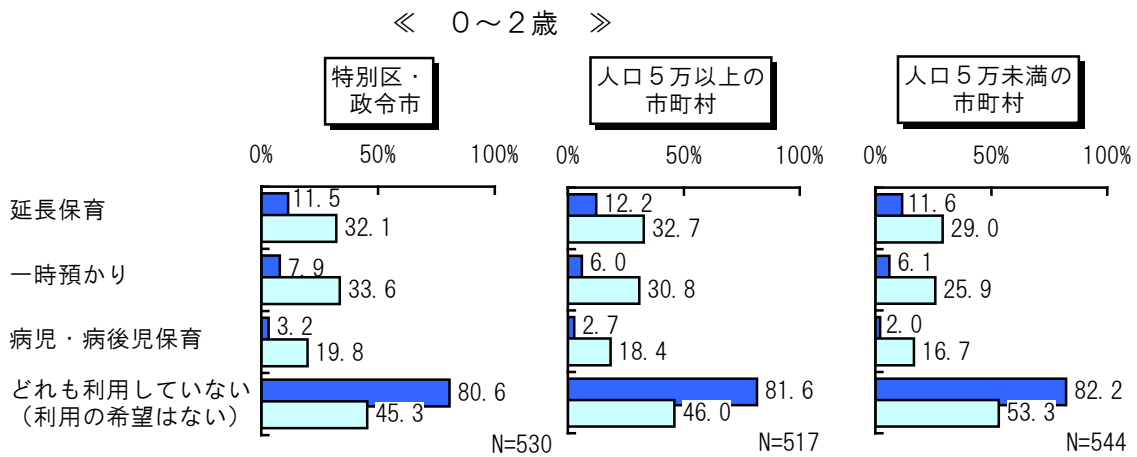
お子様は現在、その他の保育サービスを利用していますか。また、今後希望したい(または続けたい)保育サービスはありますか。※「希望」については、現行の利用条件などは考えずに、利用できるならという視点でお答えください。(〇はいくつでも)



0～2歳の現在の利用状況は、「どれも利用していない」が81.5%と8割を超えています。利用している中では、「延長保育」が11.8%となっています。今後の利用意向は、「延長保育」の31.2%と、「一時預かり」の30.0%が3割を超えています。

3～6歳の現在の利用状況は、「どれも利用していない」が67.8%と最も多くなっています。利用している中では、「延長保育」が28.2%となっています。今後の利用意向は、「延長保育」が37.6%となっています。

◆ 人口規模別 ◆



■ 現在の利用状況
□ 今後の利用意向

人口規模別にみると、0～2歳はいずれの規模も「延長保育」、「一時預かり」、「病児・病後児保育」の今後の利用意向が多くなっています。

3～6歳の「一時預かり」をみると、特別区・政令市は現在の利用状況が6.3%に対し、今後の利用意向は22.0%と、15.7ポイント高くなっています。

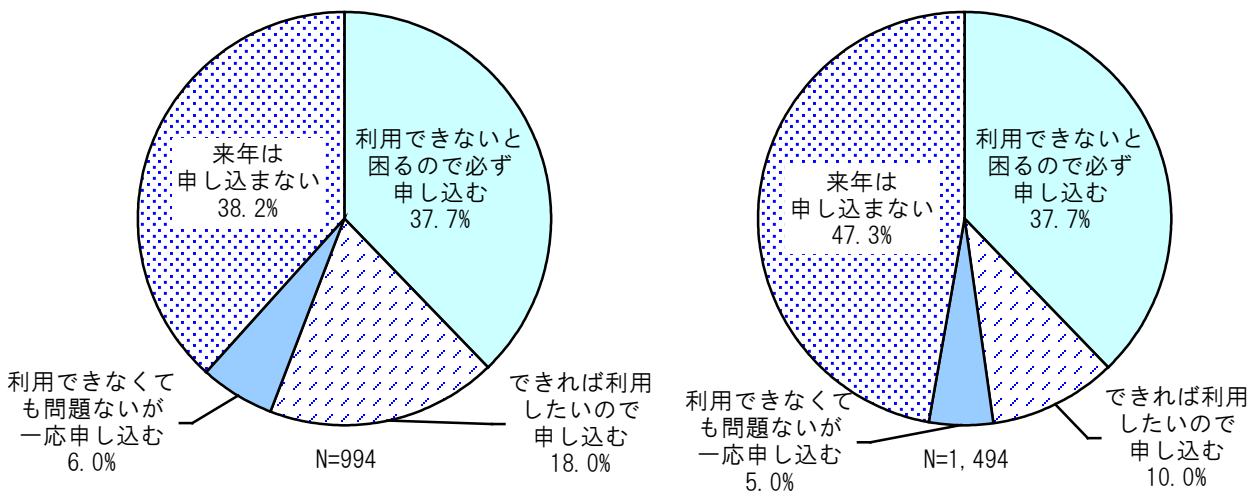
(14) 来年4月からの利用を申し込むか [問9、問16]

(日中の定期的保育 [希望] で認可保育所、認証・認定保育施設、幼稚園 (通常の預かり時間)、認定こども園を希望と回答された方のみ)

希望されたサービスは、来年の4月から利用するために、実際に申し込みをされますか。(それぞれ〇は1つ)

《 0～2歳 》

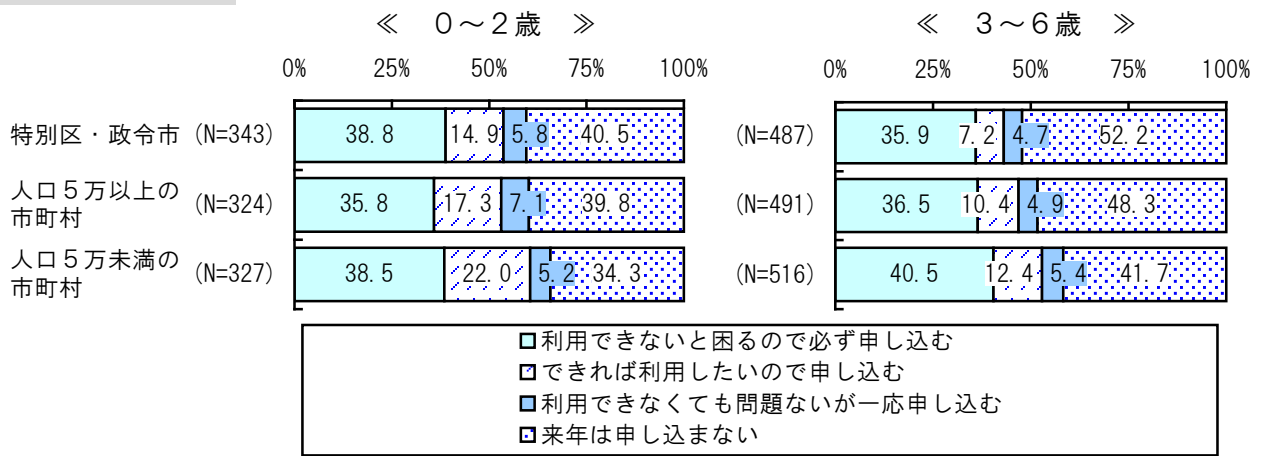
《 3～6歳 》



0～2歳の来年4月からの申し込みは、「来年は申し込まない」の38.2%と、「利用できないと困るので必ず申し込む」の37.7%が3割を超えています。

3～6歳の来年4月からの申し込みは、「来年は申し込まない」が47.3%と多く、次いで「利用できないと困るので必ず申し込む」が37.7%、「できれば利用したいので申し込む」が10.0%などとなっています。

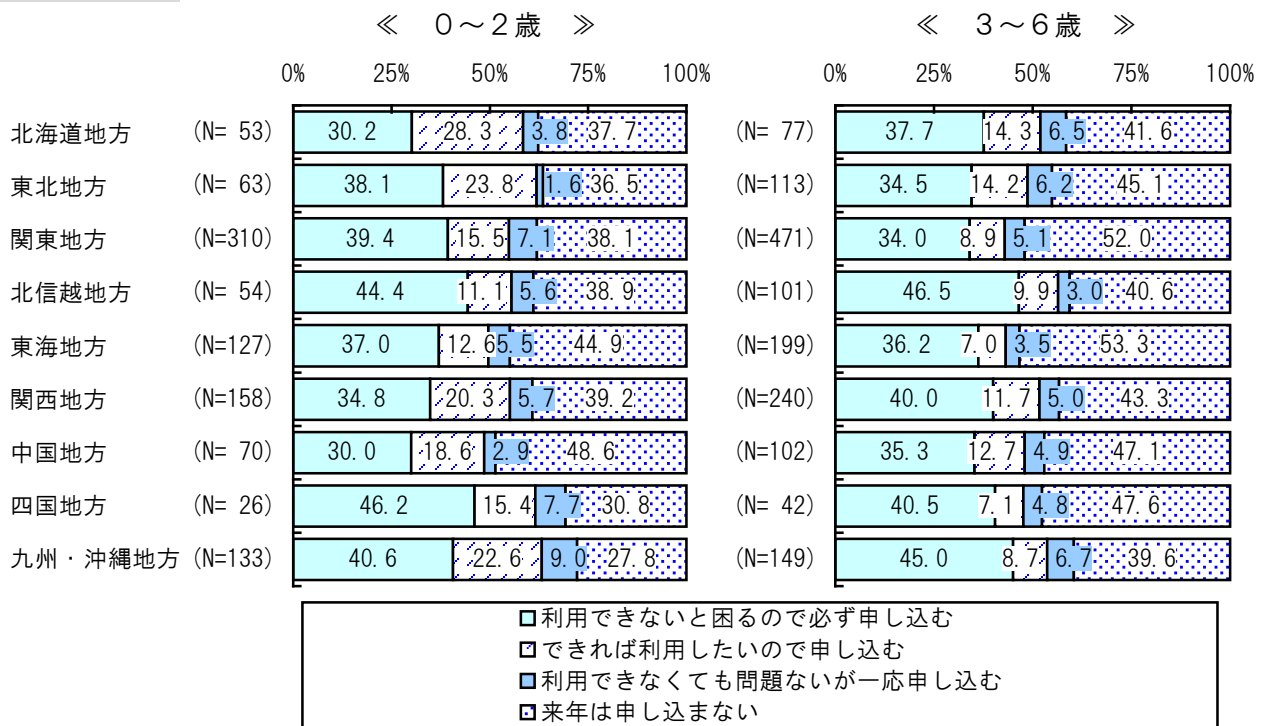
◆ 人口規模別 ◆



人口規模別に0～2歳の来年4月からの申し込みをみると、「来年は申し込まない」は特別区・政令市が40.5%、人口5万以上の市町村が39.8%と、いずれも4割前後となっています。

3～6歳の来年4月からの申し込みをみると、「来年は申し込まない」は特別区・政令市が52.2%と多く、次いで人口5万以上の市町村が48.3%、人口5万未満の市町村が41.7%となっています。

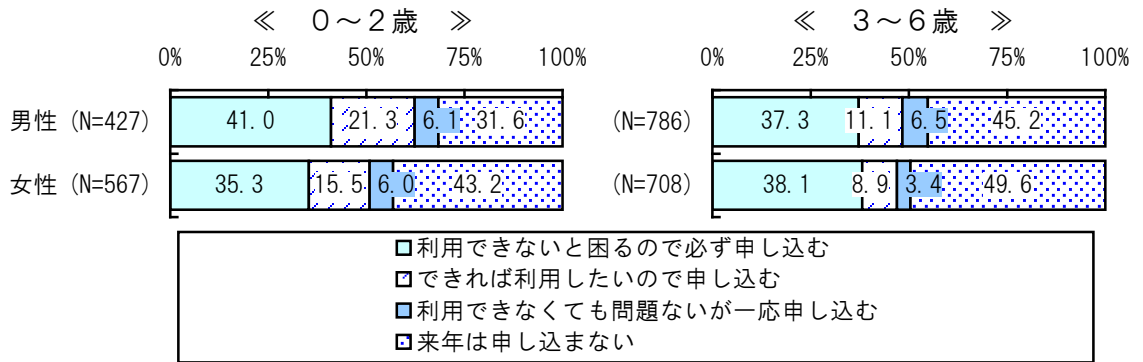
◆ 地方別 ◆



地方別に0～2歳の来年4月からの申し込みをみると、「来年は申し込まない」は中国地方が48.6%、東海地方が44.9%と、いずれも4割を超えています。

3～6歳の来年4月からの申し込みをみると、「来年は申し込まない」は東海地方が53.3%、関東地方が52.0%と、いずれも5割を超えています。

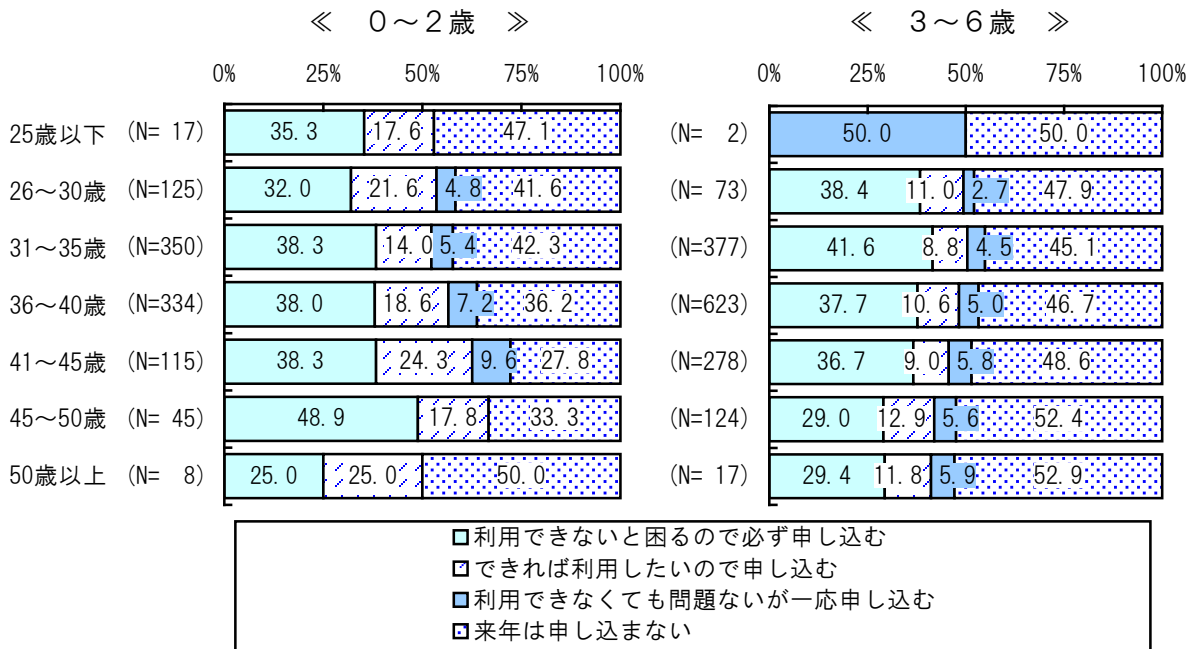
◆ 性別 ◆



性別に0～2歳の来年4月からの申し込みをみると、「来年は申し込まない」は女性が43.2%、男性が31.6%と、女性の方が11.6ポイント高くなっています。

3～6歳での大きな差異はみられません。

◆ 年齢別 ◆



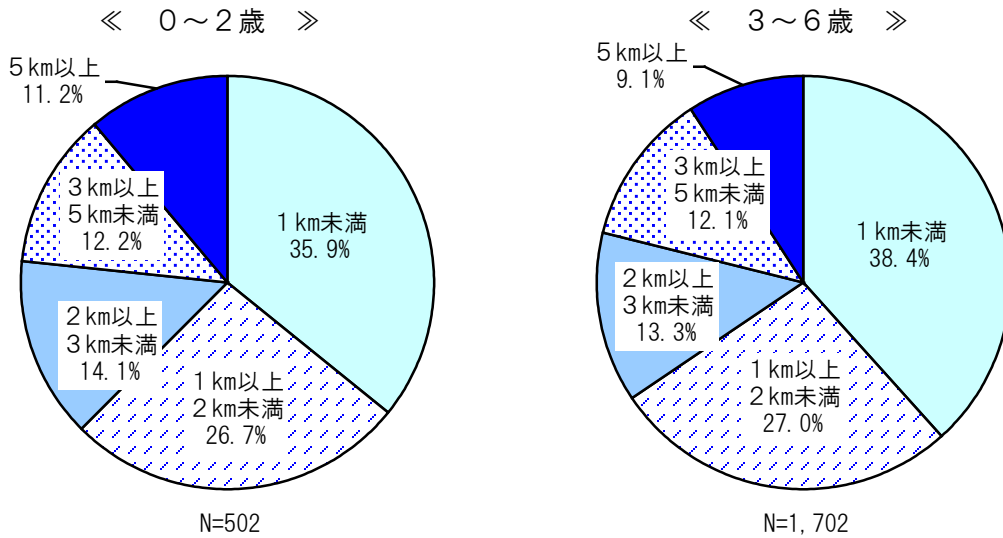
年齢別に0～2歳の来年4月からの申し込みをみると、「来年は申し込まない」は35歳以下で4割を超えています。

3～6歳の来年4月からの申し込みをみると、「利用できないと困るので必ず申し込む」は31～35歳が41.6%と、他の年齢よりも多くなっています。

(15) 子どもの主な預かり先までの距離 [問 10、問 17]

(日中の定期的保育サービスを利用している方のみ)

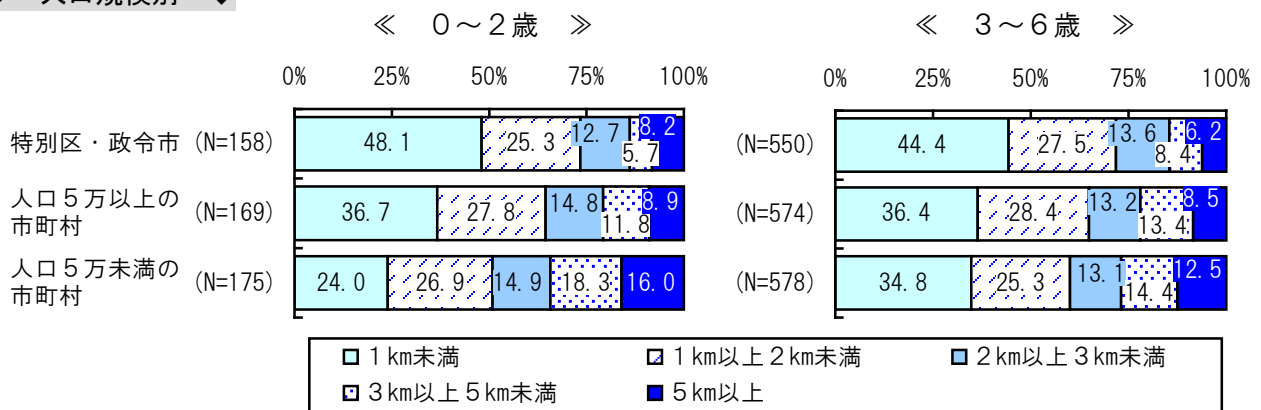
ご自宅からお子様の主な預かり先までの距離は、概ねどの程度ですか。



0～2歳の主な預かり先までの距離は、「1 km 未満」が35.9%と多く、次いで「1 km 以上 2 km 未満」が26.7%、「2 km 以上 3 km 未満」が14.1%などとなっています。

3～6歳の主な預かり先までの距離は、「1 km 未満」が38.4%と最も多く、次いで「1 km 以上 2 km 未満」が27.0%、「2 km 以上 3 km 未満」が13.3%などとなっています。

◆ 人口規模別 ◆



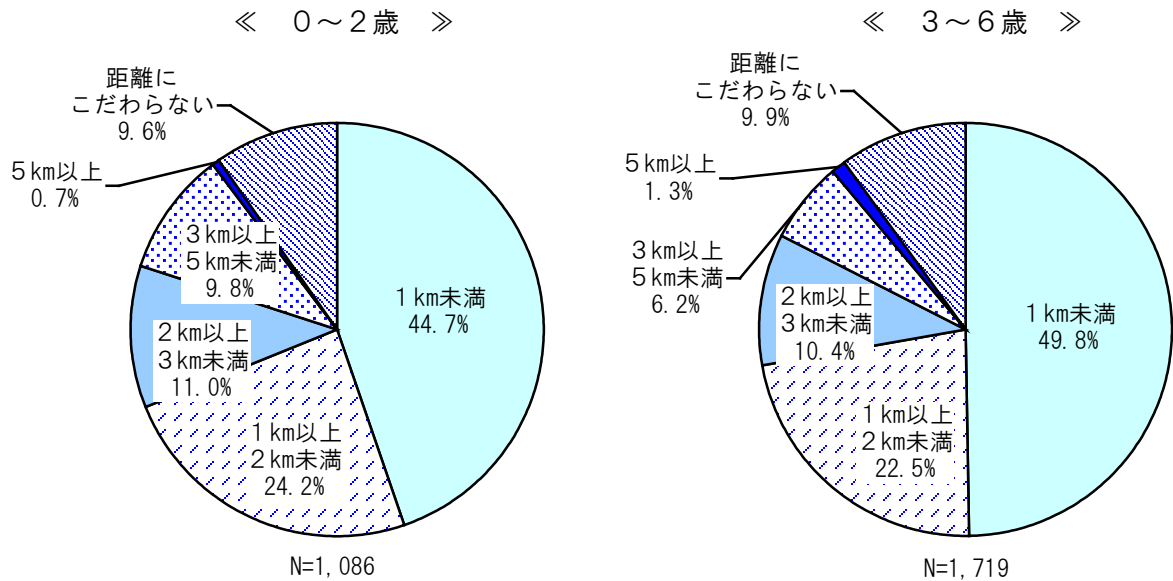
人口規模別に0～2歳の主な預かり先までの距離をみると、「1 km 未満」は特別区・政令市が48.1%と最も多く、次いで人口5万以上の市町村が36.7%、人口5万未満の市町村が24.0%となっています。

3～6歳の主な預かり先までの距離をみると、「1 km 未満」は特別区・政令市が44.4%と、他の人口規模よりも多くなっています。

(16) 子どもの主な預かり先までの希望距離 [問 12、問 19]

(日中の定期的保育サービスの利用を希望している方のみ)

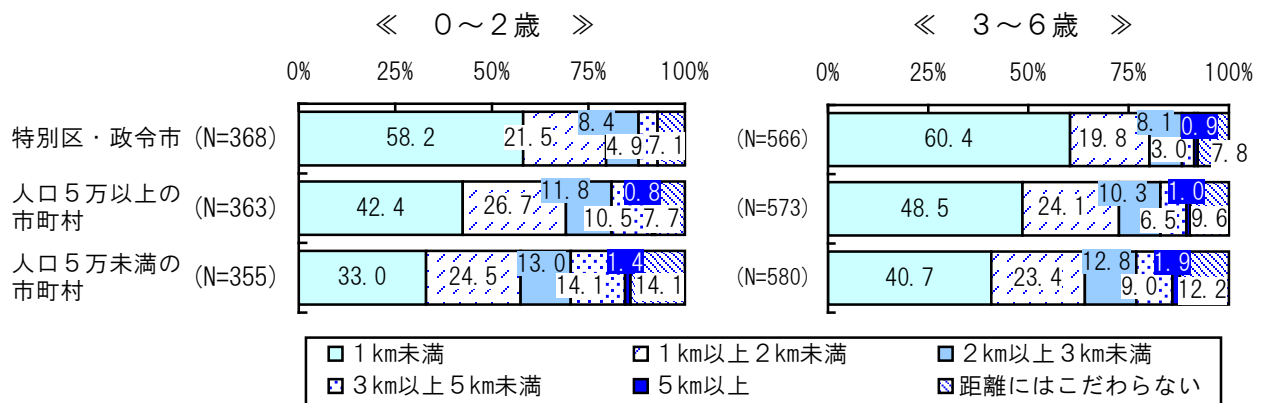
ご自宅からお子様の主な預かり先までの希望する距離はありますか。



0～2歳の主な預かり先までの希望距離は、「1 km 未満」が 44.7%と最も多く、次いで「1 km 以上 2 km 未満」が 24.2%、「2 km 以上 3 km 未満」が 11.0%などとなっています。

3～6歳の主な預かり先までの希望距離は、「1 km 未満」が 49.8%と最も多く、次いで「1 km 以上 2 km 未満」が 22.5%、「2 km 以上 3 km 未満」が 10.4%などとなっています。

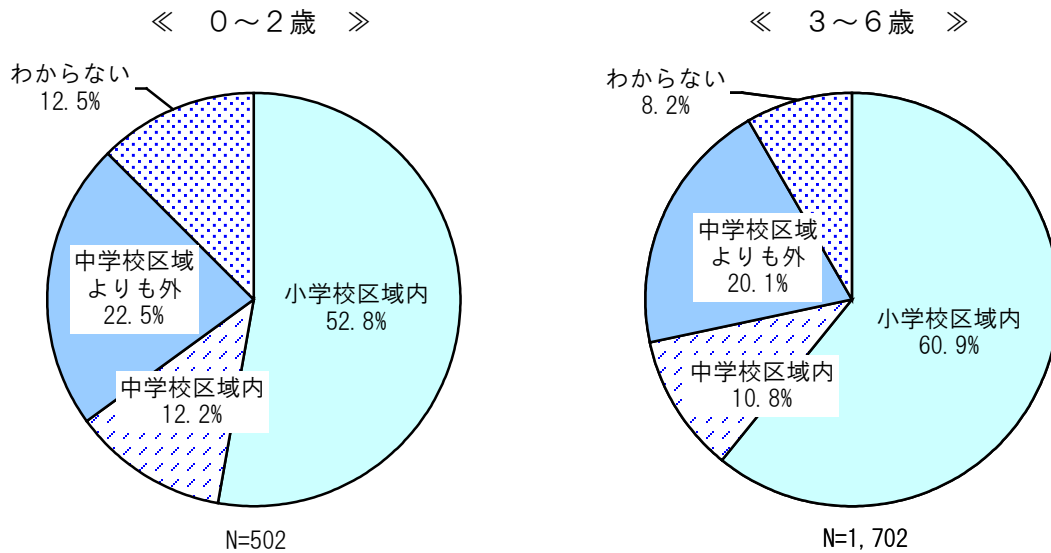
◆ 人口規模別 ◆



人口規模別に主な預かり先までの希望距離をみると、0～2歳、3～6歳ともに人口規模が大きいほど「1 km 未満」が多くなっています。

(17) 子どもの主な預かり先の区域 [問 11、問 18]

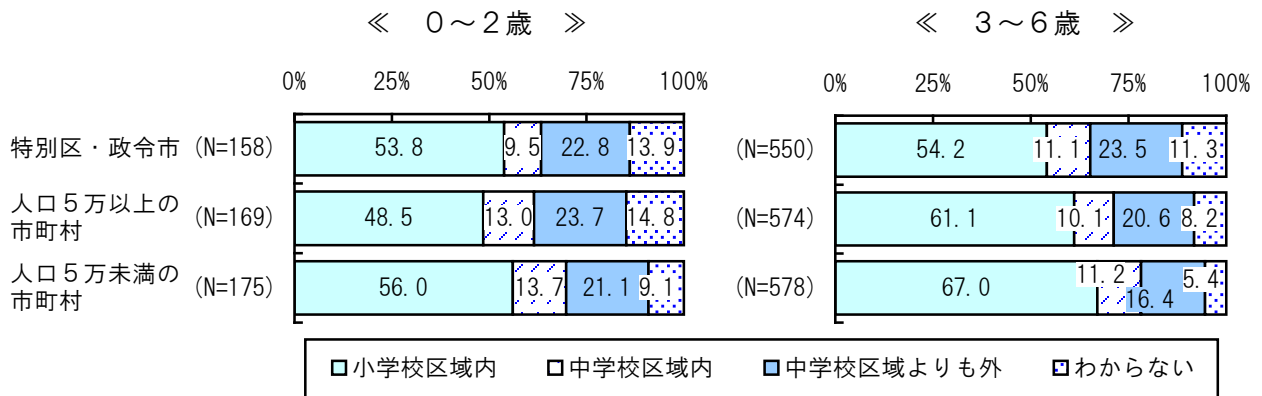
ご自宅からお子様の主な預かり先までの距離は、次のうちどれに当てはまりますか。



0～2歳の主な預かり先までの区域は、「小学校区域内」が52.8%と最も多く、次いで「中学校区域よりも外」が22.5%、「中学校区域内」が12.2%となっています。

3～6歳の主な預かり先までの区域は、「小学校区域内」が60.9%と最も多く、次いで「中学校区域よりも外」が20.1%、「中学校区域内」が10.8%となっています。

◆ 人口規模別 ◆

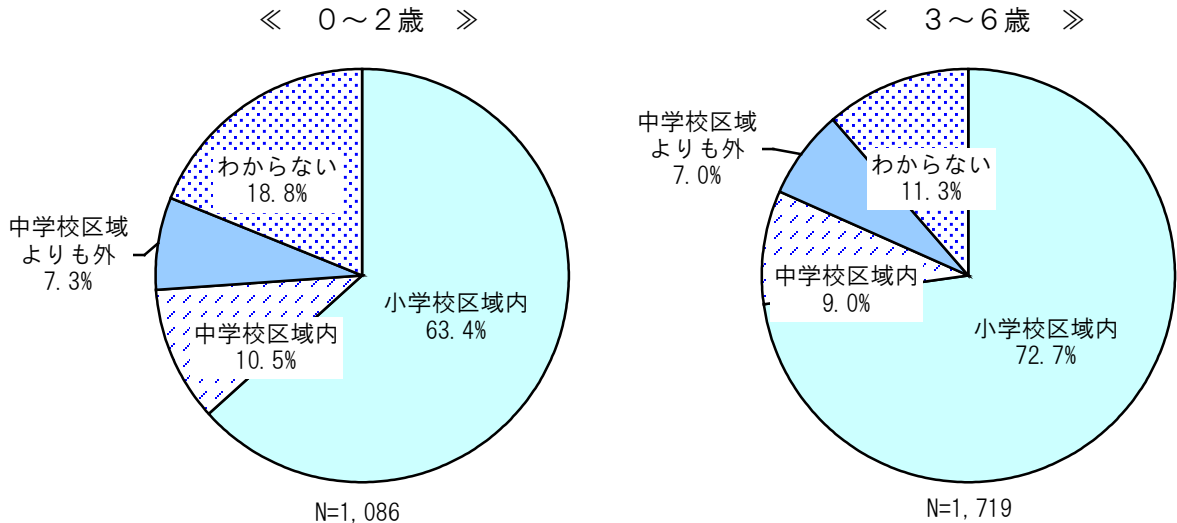


人口規模別に0～2歳の主な預かり先までの区域をみると、「小学校区域内」は特別区・政令区と人口5万未満の市町村で5割を超えています。

3～6歳の主な預かり先までの区域をみると、「小学校区域内」は人口規模が小さいほど多くなっています。

(18) 子どもの主な預かり先の希望区域 [問 13、問 20]

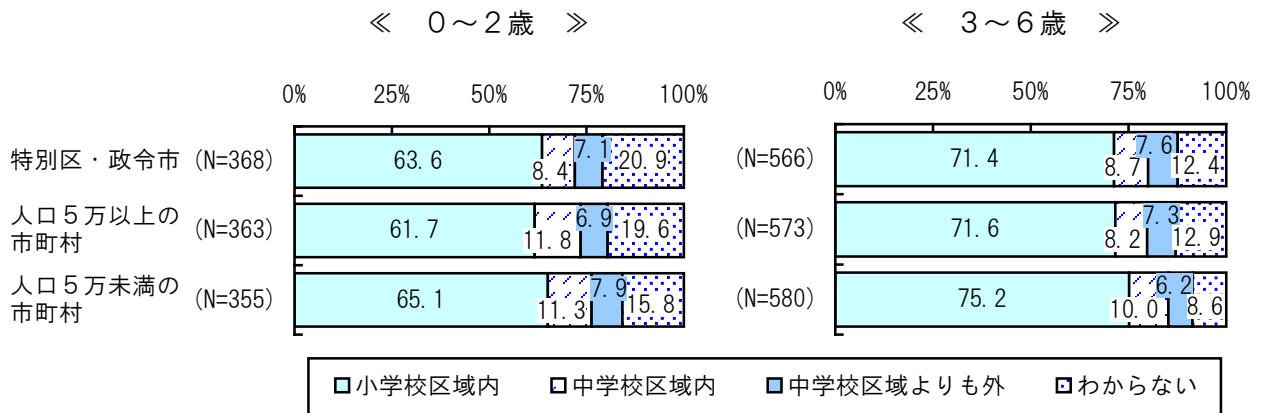
ご自宅からお子様の主な預かり先までの希望する距離は、次のうちどれに当てはまりますか。



0～2歳の主な預かり先までの希望区域は、「小学校区域内」が63.4%と最も多く、次いで「中学校区域内」が10.5%、「中学校区域よりも外」が7.3%となっています。

3～6歳の主な預かり先までの希望区域は、「小学校区域内」が72.7%と最も多く、次いで「中学校区域内」が9.0%、「中学校区域よりも外」が7.0%となっています。

◆ 人口規模別 ◆



人口規模別に主な預かり先までの希望区域をみると、0～2歳、3～6歳ともに大きな差異はみられません。

●○ 就学前（0～6歳）のお子様について ○●

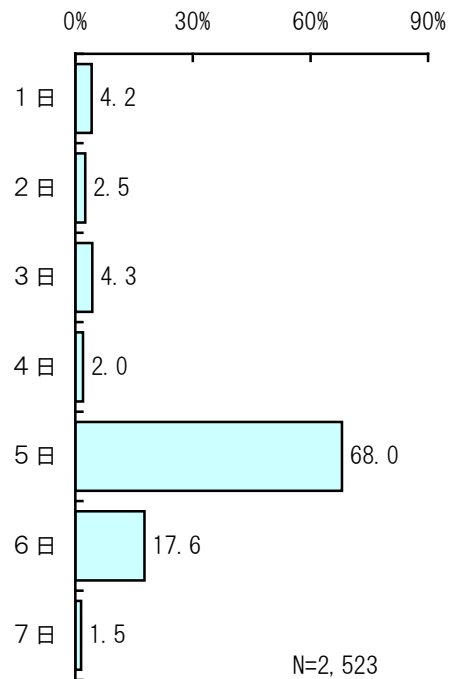
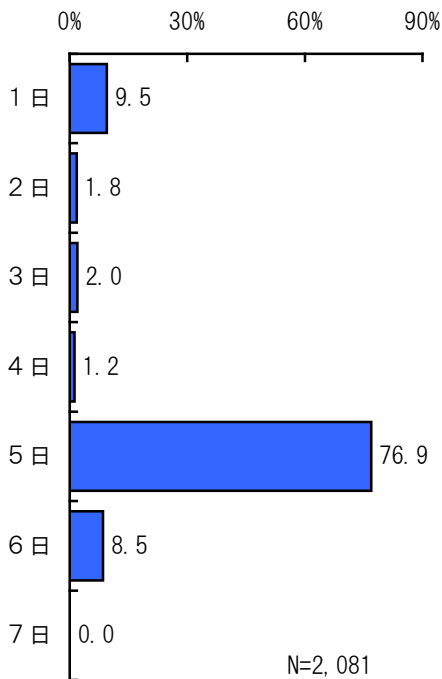
(19) 保育サービスに預ける日数（週平均）[問 21、問 24]

（保育サービスを利用している方のみ）

現在預けている平均的な利用日数（延長保育なども含める）をお答えください。

（現在利用していない方も含めて）

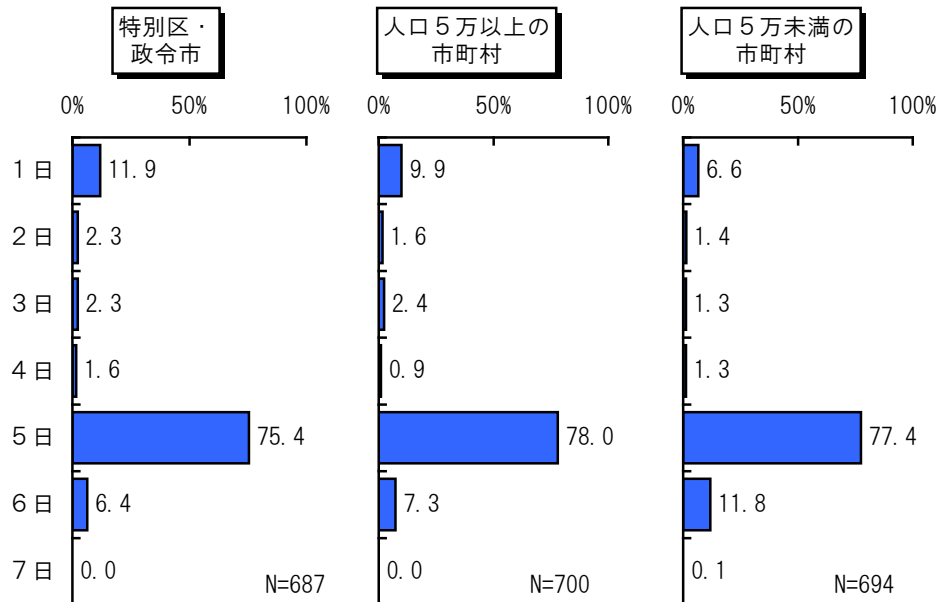
保育サービスについて、希望する利用日数（延長保育なども含める）をお答えください。
（現行の利用条件などは考えずに、利用できるならという視点で）



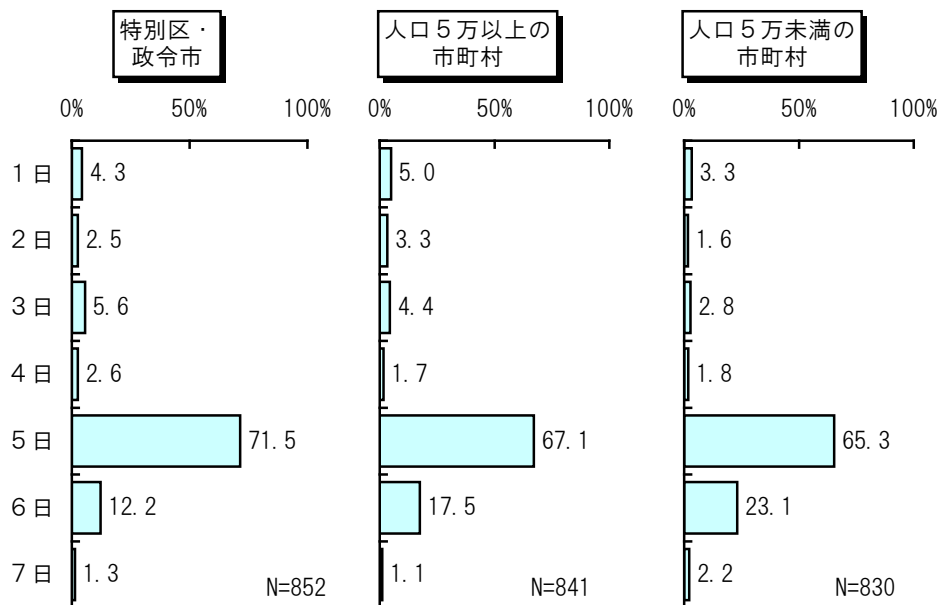
保育サービスを利用している方の現在の平均利用日数は、「5日」が76.9%と最も多くなっています。現在保育サービスを利用していない方も含めた利用希望日数は、「5日」が68.0%と最も多く、次いで「6日」が17.6%などとなっています。

◆ 人口規模別 ◆

現在の状況



今後の意向



人口規模別に現在の状況を見ると、いずれも「5日」が7割を超えています。

今後の意向をみると、「6日」は人口5万未満の市町村が23.1%と多く、次いで人口5万以上の市町村が17.5%、特別区・政令市が12.2%となっており、人口規模が小さいほど「6日」を希望する人が多くなっています。

(20) 保育サービスに預けている時間（日平均） [問 22、問 25]

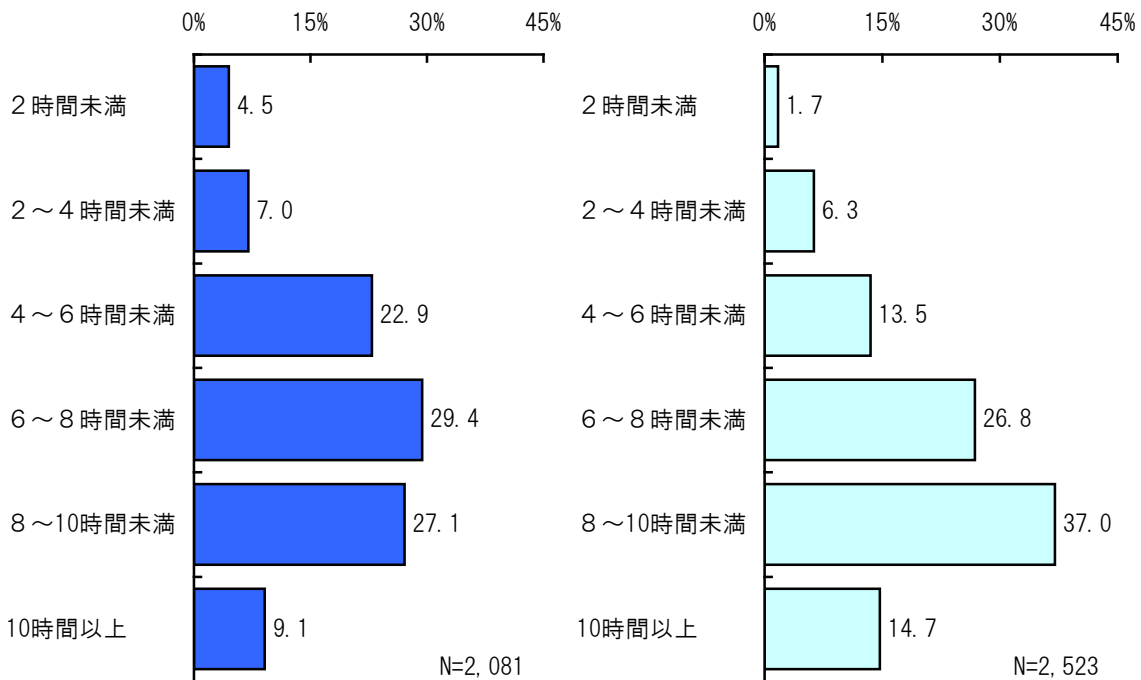
（保育サービスを利用している方のみ）

現在預けている平均的な1日あたりで預ける時間（延長保育なども含める）をお答えください。

（現在利用していない方も含めて）

保育サービスについて、希望する1日あたりで預けたい時間（延長保育なども含める）をお答えください。

（現行の利用条件などは考えずに、利用できるならという視点で）

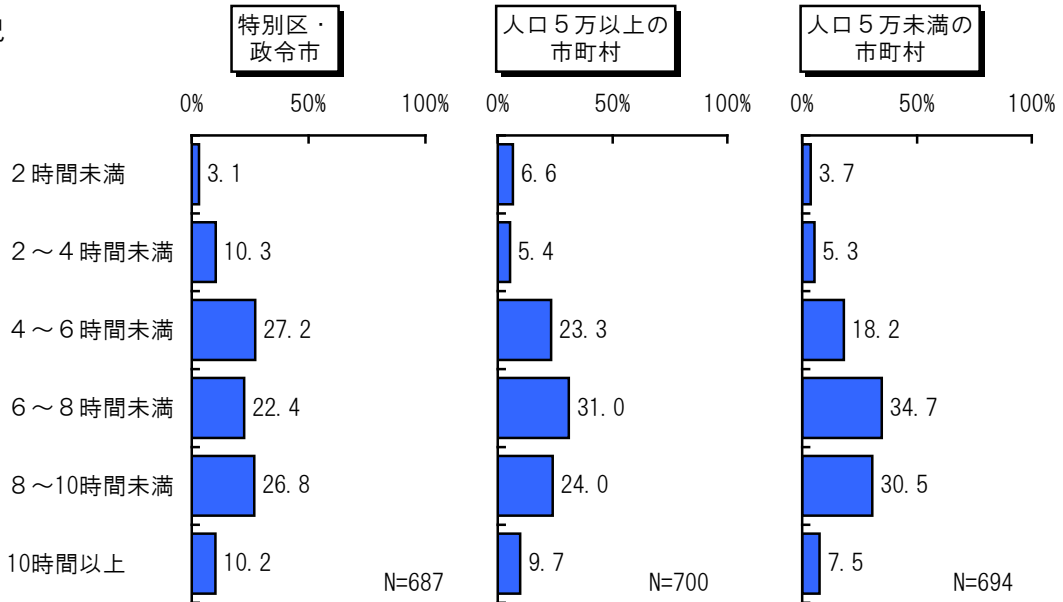


保育サービスを利用している方の1日あたりの平均預け時間は、「6～8時間未満」の29.4%、「8～10時間未満」の27.1%、「4～6時間未満」の22.9%が2割を超えています。

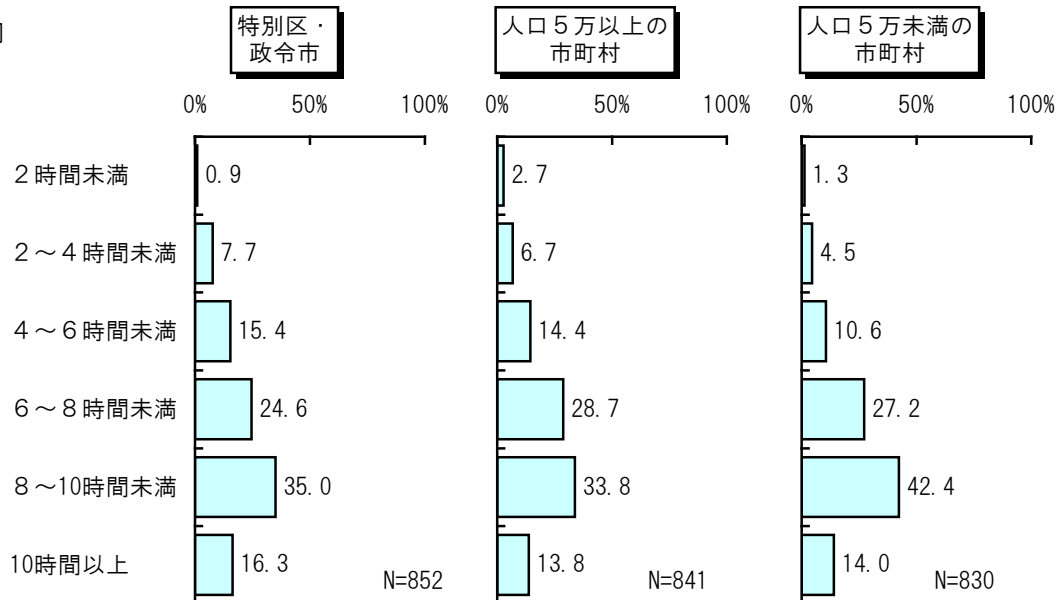
現在保育サービスを利用していない方も含めた預け希望時間は、「8～10時間未満」が37.0%と最も多く、次いで「6～8時間未満」が26.8%、「10時間以上」が14.7%などとなっています。

◆ 人口規模別 ◆

現在の状況



今後の意向



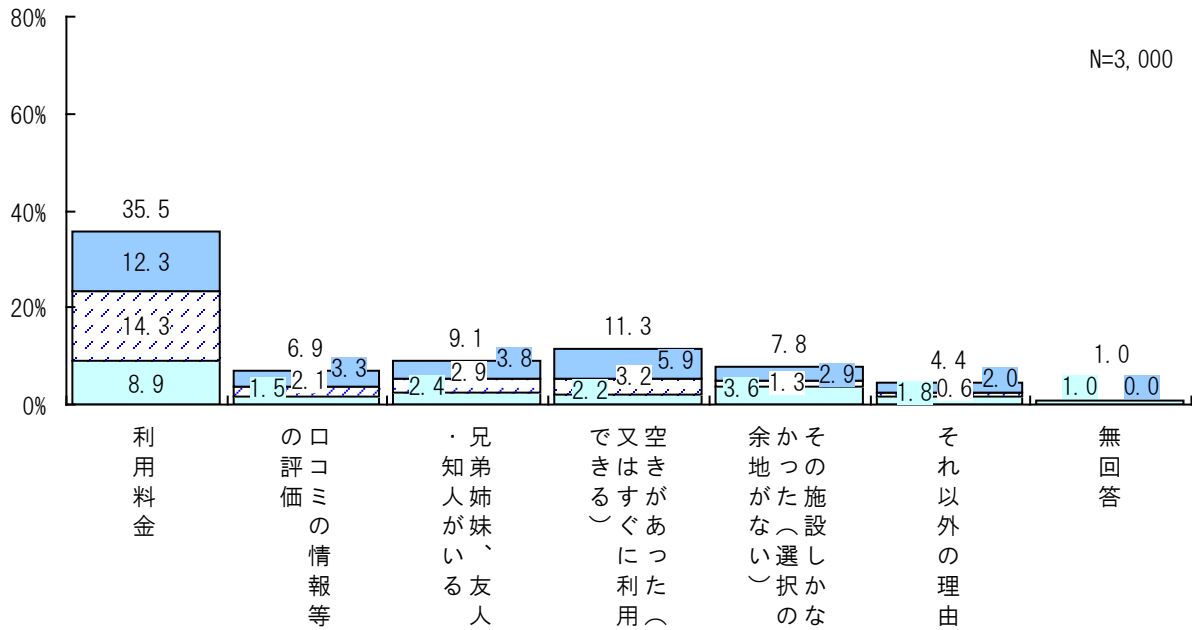
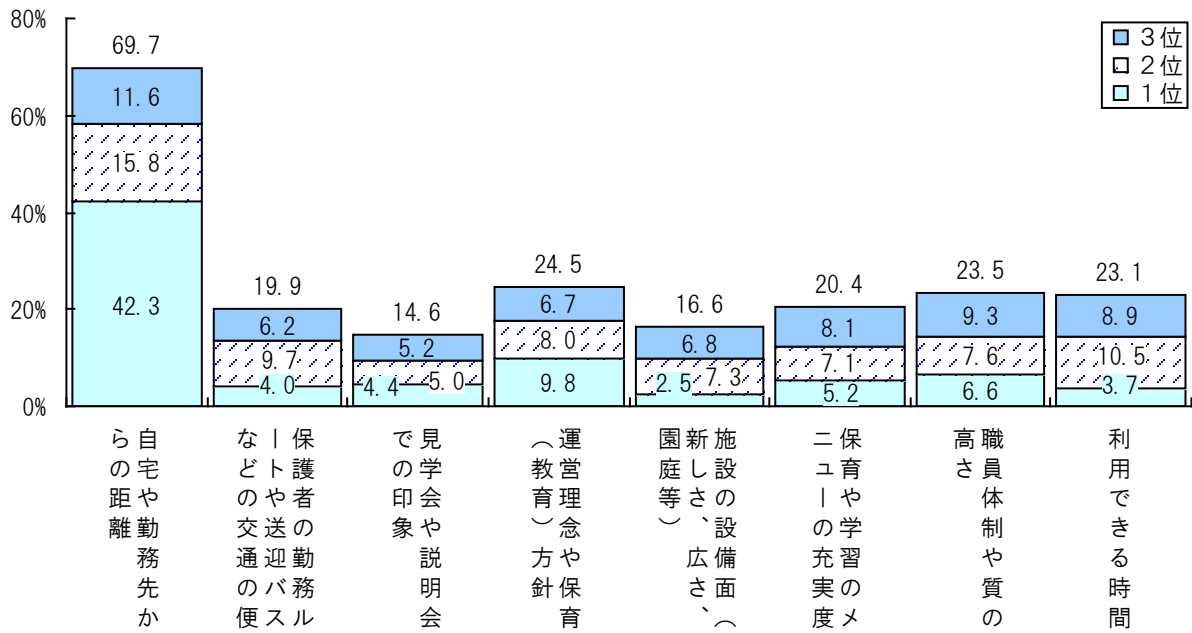
人口規模別に現在の状況を見ると、「6～8時間未満」は人口5万未満の市町村が34.7%、人口5万以上の市町村が31.0%と、いずれも3割を超えています。

今後の意向をみると、「8～10時間未満」は人口5万未満の市町村が42.4%と多く、次いで特別区・政令市が35.0%、人口5万以上の市町村が33.8%となっています。

(21) 保育サービス事業所を選ぶポイント [問 23]

(現在利用していない方も含めて)

サービス提供事業所を選んだ（又は選ぶ）主なポイントはどれですか。重視する点を上位3つまで選び、枠内に選択肢番号をご記入ください。



N=3,000

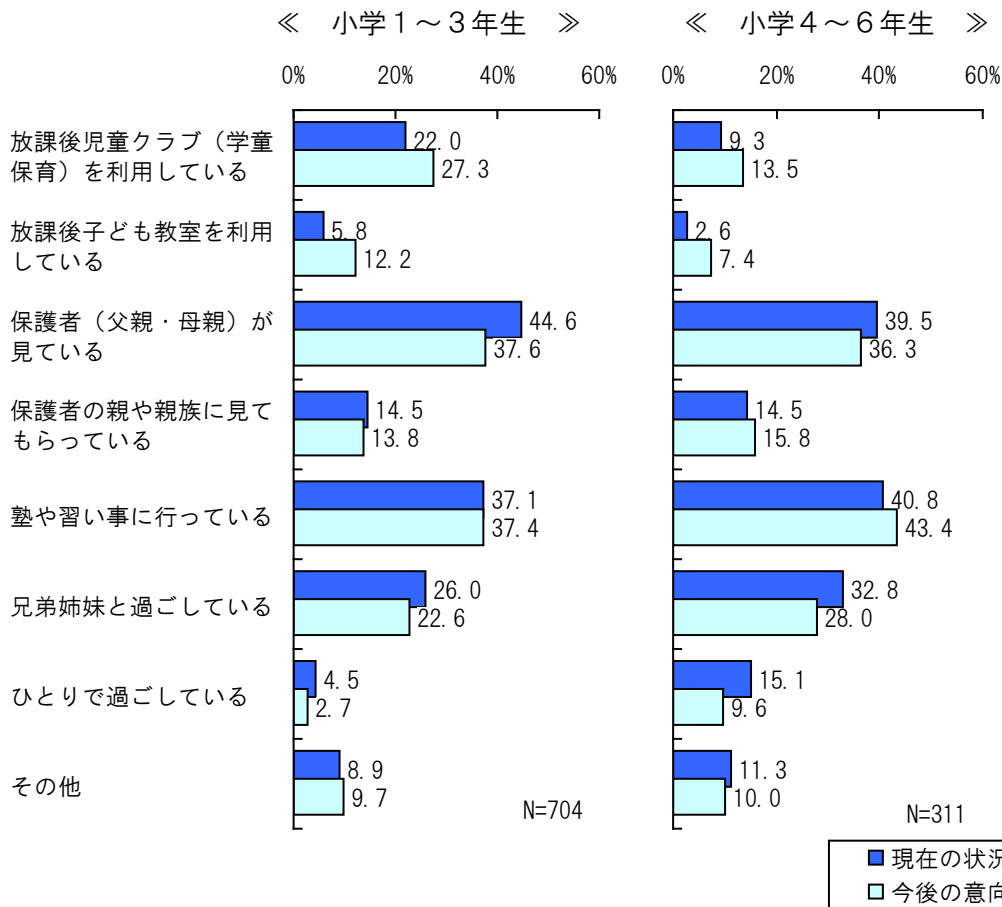
保育サービス事業所を選ぶポイントは、「自宅や勤務先からの距離」が69.7%と最も多く、次いで「利用料金」が35.5%、「運営理念や保育（教育）方針」が24.5%などとなっています。

●○ 小学生のお子様について ○●

5 放課後の過ごし方について

(22) 現在の放課後の過ごし方、今後の意向 [問 26、問 30]

お子様は、平日の放課後、主にどこで見てもらっていますか。

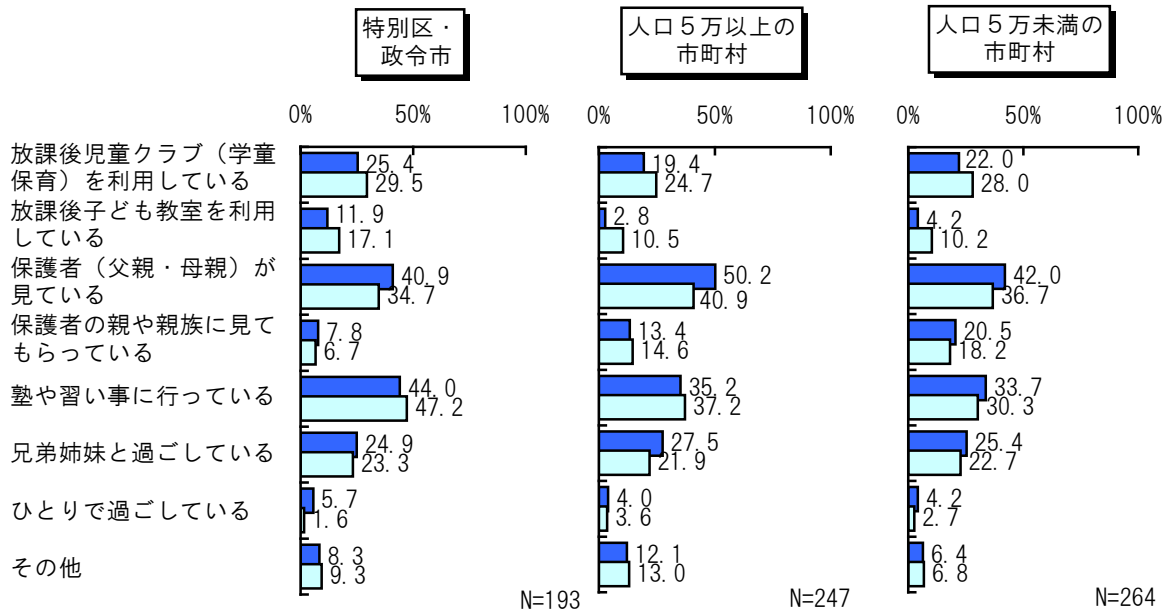


小学1～3年生の現在の放課後の過ごし方は、「保護者(父親・母親)が見ている」が44.6%と最も多く、次いで「塾や習い事に行っている」が37.1%、「兄弟姉妹と過ごしている」が26.0%などとなっています。今後の意向は、「保護者(父親・母親)が見ている」の37.6%と、「塾や習い事に行っている」の37.4%が多く3割を超えています。

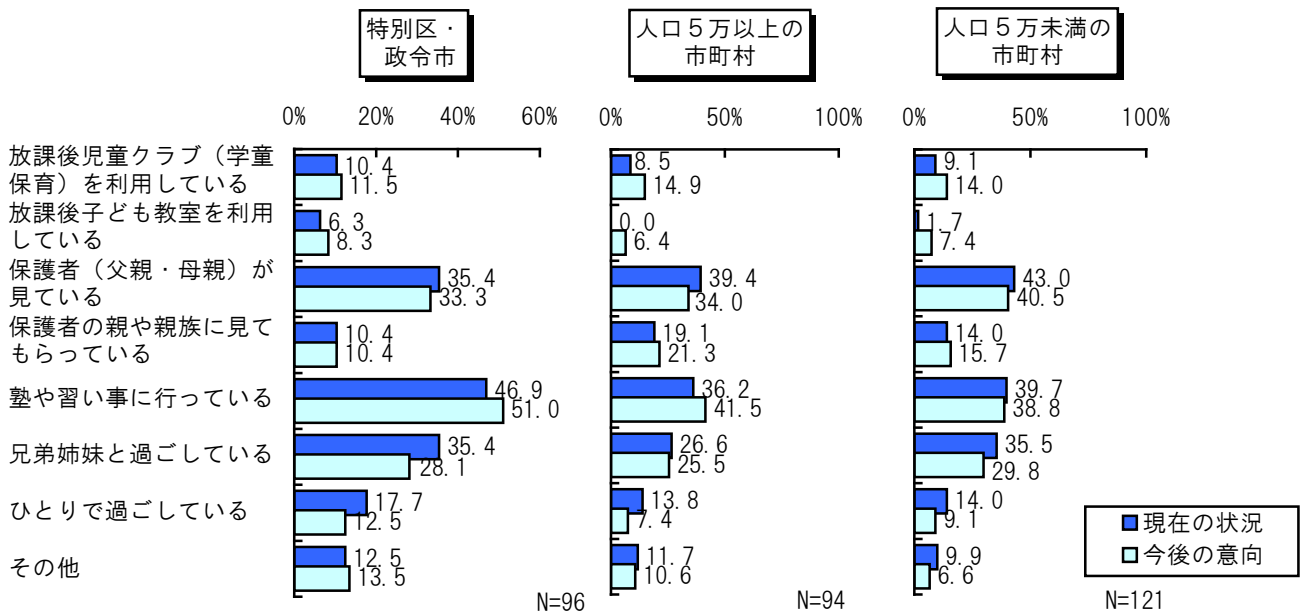
小学4～6年生の現在の放課後の過ごし方は、「塾や習い事に行っている」の40.8%、「保護者(父親・母親)が見ている」の39.5%、「兄弟姉妹と過ごしている」の32.8%が3割を超えています。今後の意向は、「塾や習い事に行っている」が43.4%と最も多く、次いで「保護者(父親・母親)が見ている」が36.3%、「兄弟姉妹と過ごしている」が28.0%などとなっています。

◆ 人口規模別 ◆

≪ 小学1～3年生 ≫



≪ 小学4～6年生 ≫



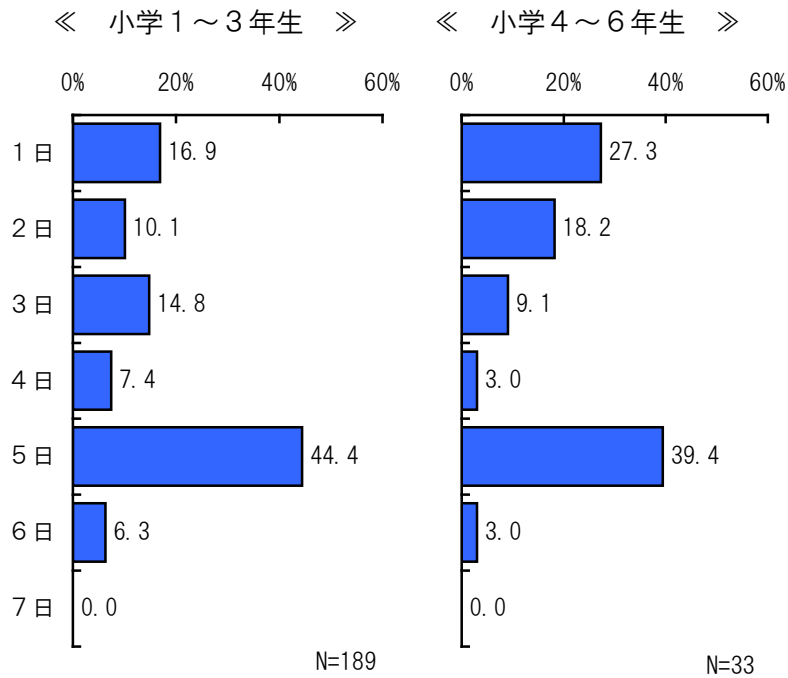
人口規模別にみると、小学1～3年生の現在の状況は、「保護者（父親・母親）が見ている」が人口5万以上の市町村で50.2%と多くなっています。

小学4～6年生の「塾や習い事に行っている」をみると、特別区・政令市は現在の状況（46.9%）、今後の意向（51.0%）ともに、他の人口規模よりも多くなっています。

(23) 放課後児童クラブ・放課後子ども教室利用日数（週平均）[問 27、問 31]

(放課後児童クラブ(学童保育)や放課後子ども教室を利用している方のみ)

現在預けている平均的な利用頻度をお答えください。

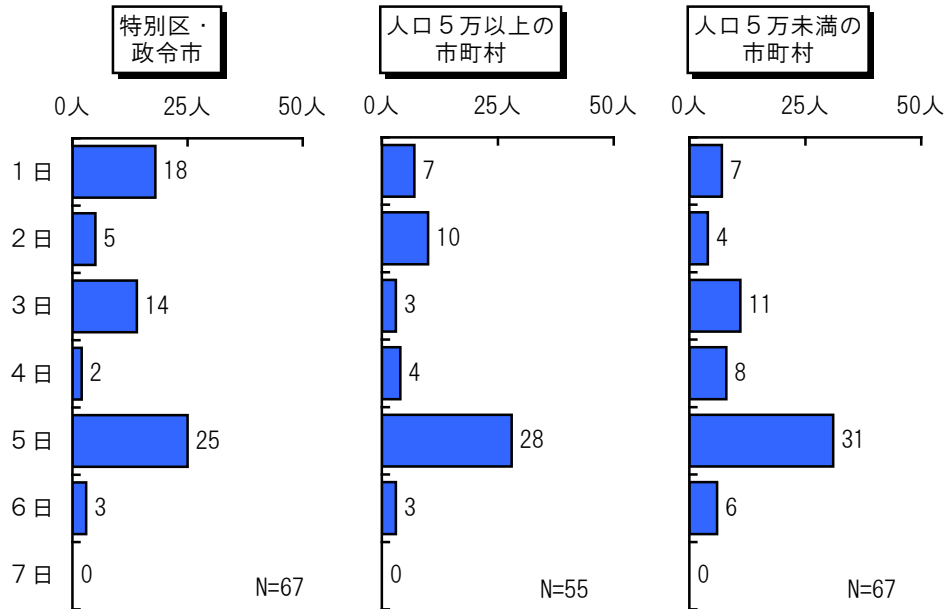


小学1～3年生の放課後児童クラブ（学童保育）・放課後子ども教室の平均利用頻度は、「5日」が44.4%と最も多く、次いで「1日」が16.9%、「3日」が14.8%などとなっています。

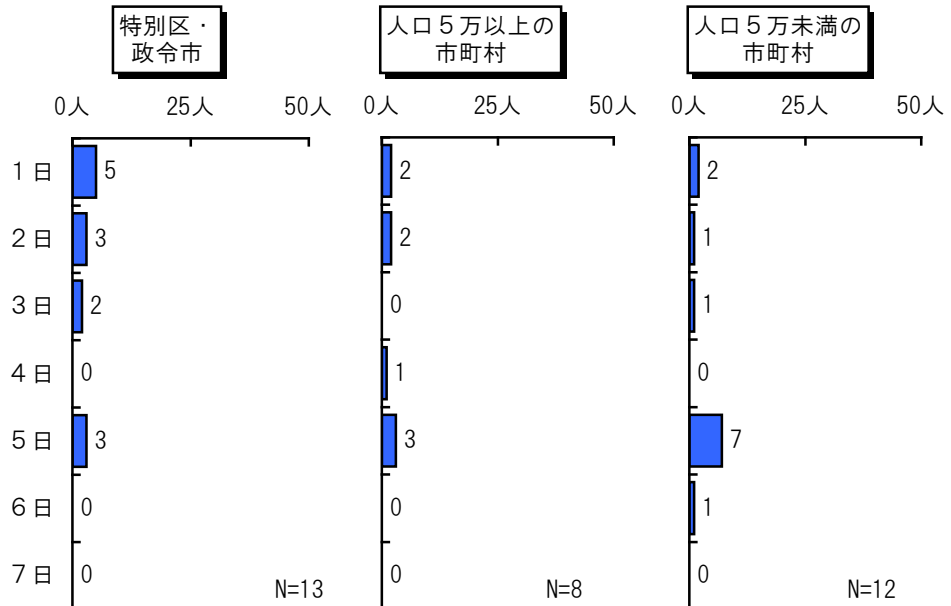
小学4～6年生の放課後児童クラブ（学童保育）・放課後子ども教室の平均利用頻度は、「5日」が39.4%と最も多く、次いで「1日」が27.3%、「2日」が18.2%などとなっています。

◆ 人口規模別 ◆

《 小学1～3年生 》



《 小学4～6年生 》

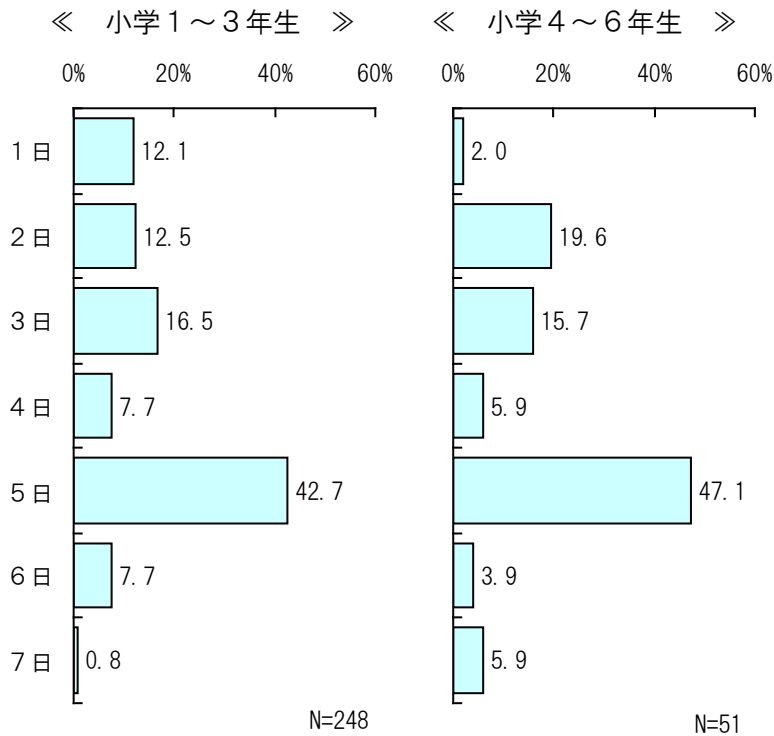


人口規模別の結果はグラフの通りとなっています。

(24) 放課後児童クラブ・放課後子ども教室利用希望日数（週平均）[問 28、問 32]

(現在利用していない方も含めて)

放課後児童クラブ（学童保育）や放課後子ども教室について、希望する利用頻度をお答えください。

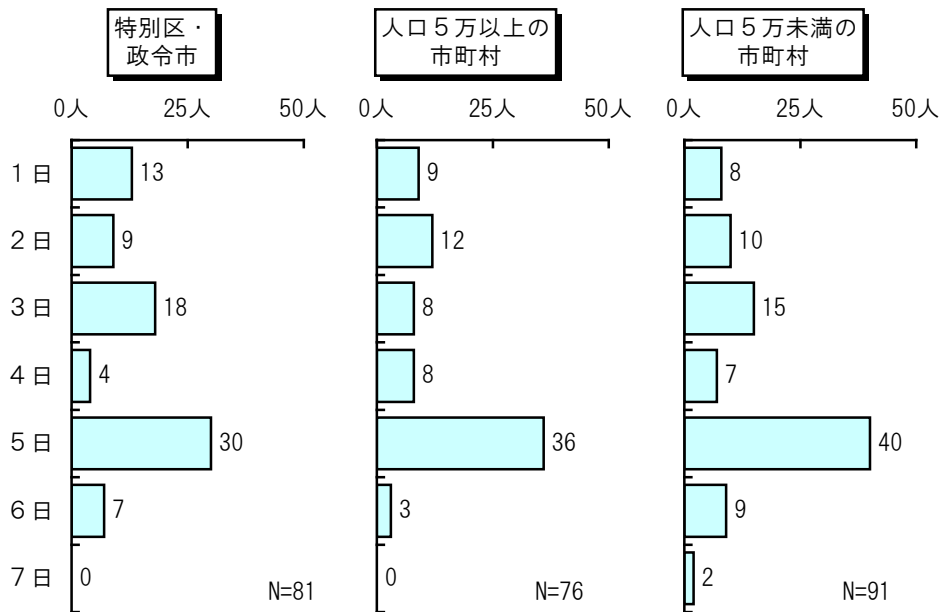


小学1～3年生の放課後児童クラブ（学童保育）・放課後子ども教室の利用意向は、「5日」が42.7%と最も多く、次いで「3日」が16.5%、「2日」が12.5%、「1日」が12.1%などとなっています。

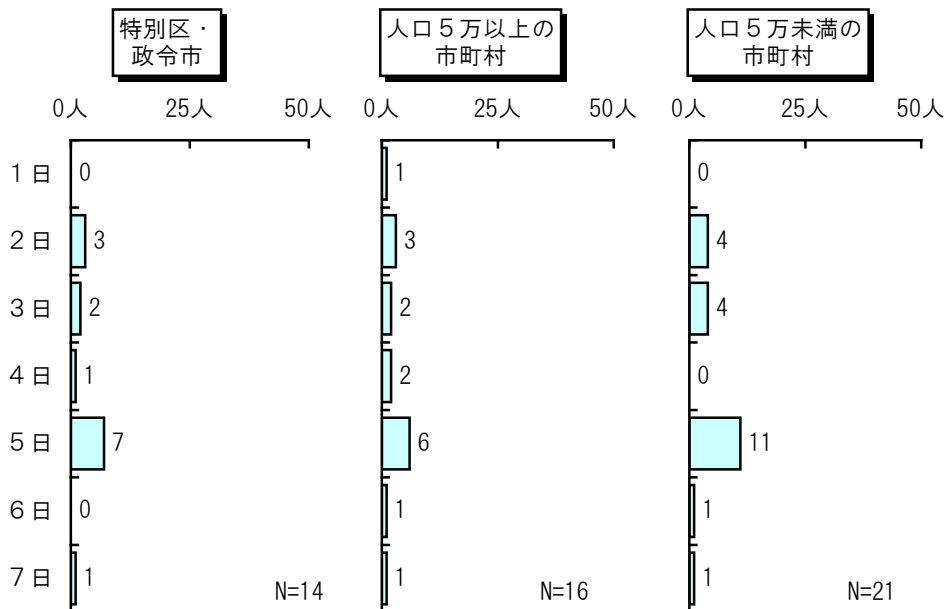
小学4～6年生の放課後児童クラブ（学童保育）・放課後子ども教室の利用意向は、「5日」が47.1%と最も多く、次いで「2日」が19.6%、「3日」が15.7%などとなっています。

◆ 人口規模別 ◆

《 小学1～3年生 》



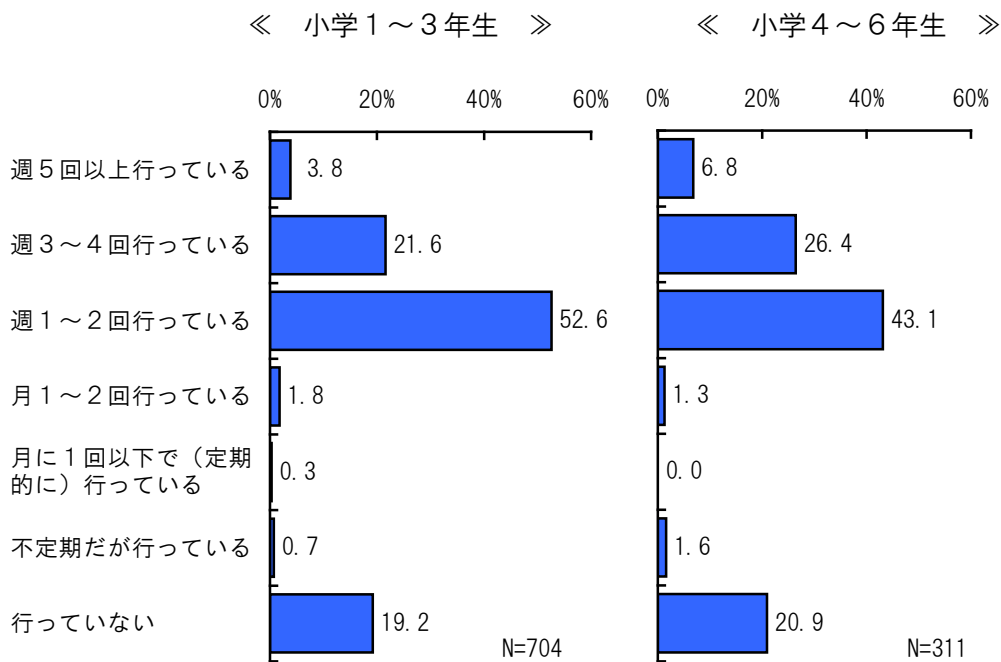
《 小学4～6年生 》



人口規模別の結果はグラフの通りとなっています。

(25) 現在習い事に通っているか[問 29、問 33]

お子様は現在、塾や習い事に週何回行っていますか。(○は1つ)

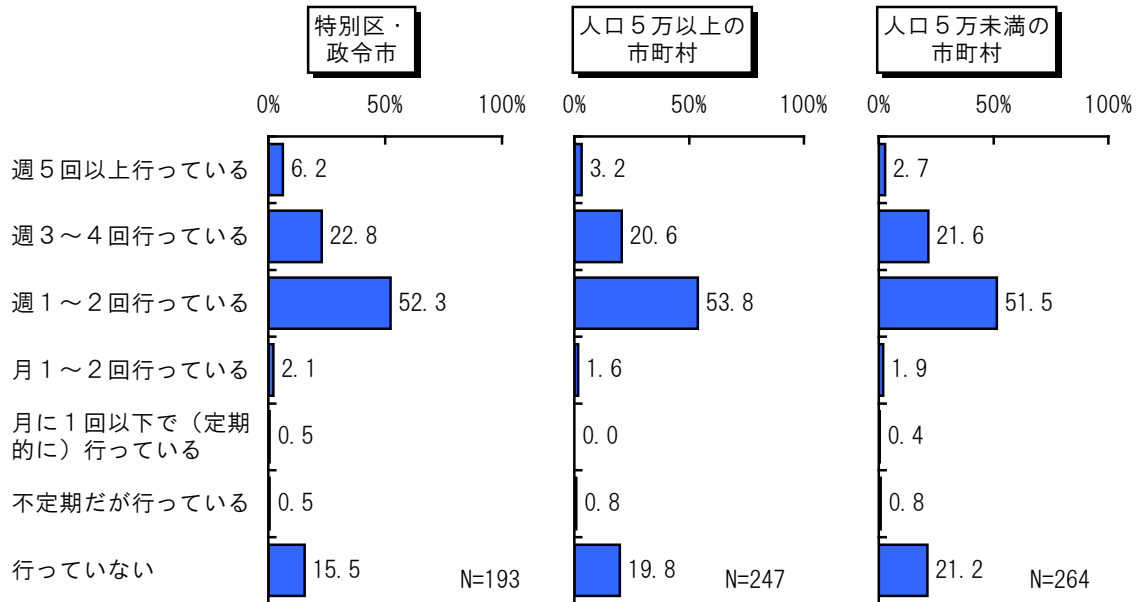


小学1～3年生の習い事の様子は、「週1～2回行っている」が52.6%と最も多く、次いで「週3～4回行っている」が21.6%などとなっています。

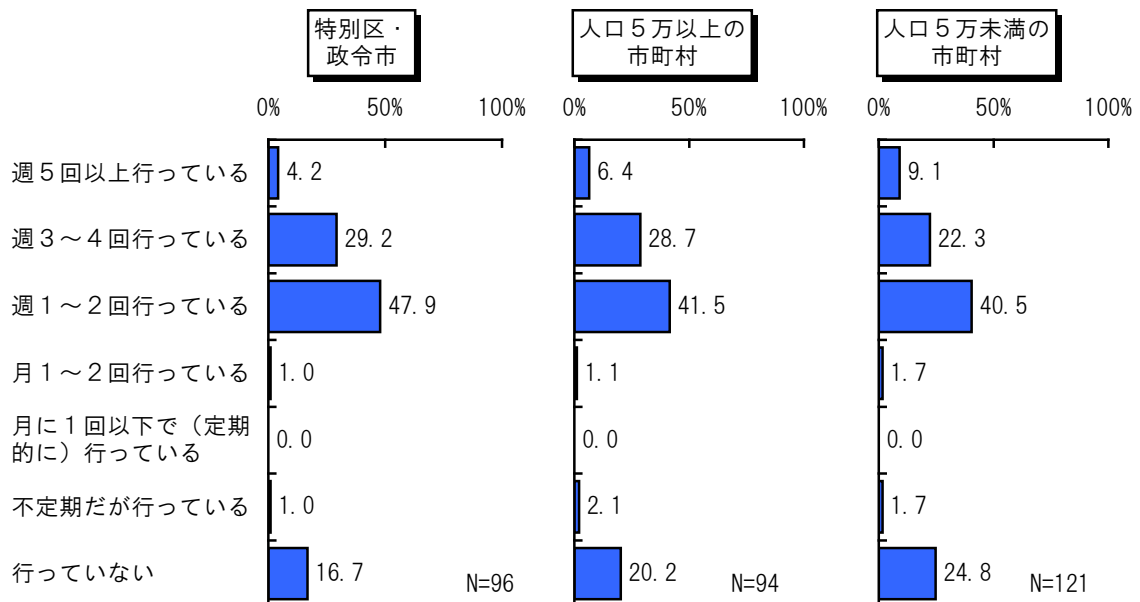
小学4～6年生の習い事の様子は、「週1～2回行っている」が43.1%と最も多く、次いで「週3～4回行っている」が26.4%などとなっています。

◆ 人口規模別 ◆

《 小学1～3年生 》



《 小学4～6年生 》



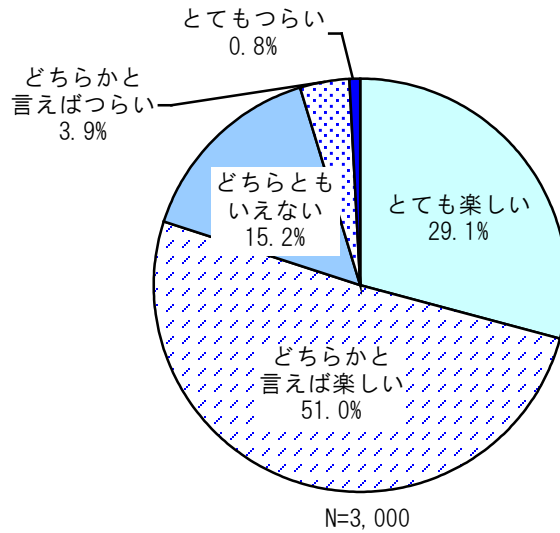
人口規模別に小学4～6年生の習い事の状況をみると、「週3～4回行っている」は特別区・政令市が29.2%、人口5万以上の市町村が28.7%、人口5万未満の市町村が22.3%となっており、人口規模が大きい方が多くなっています。

小学1～3年生での大きな差異はみられません。

6 子育て全般について

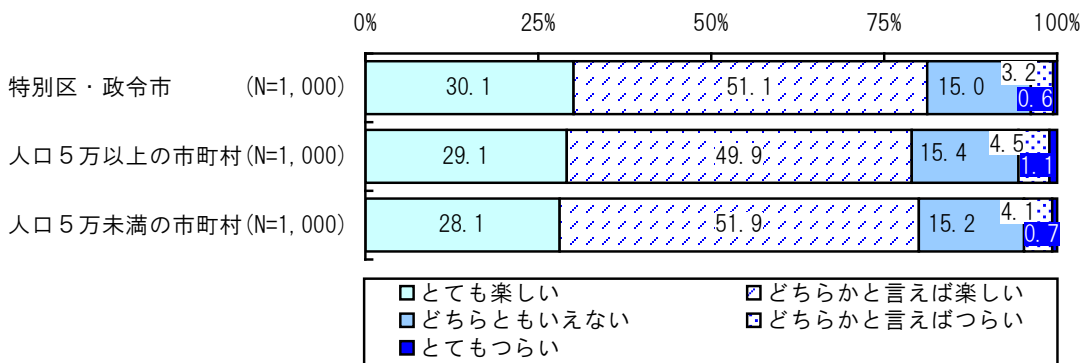
(26) 子育ては楽しいか[問 34]

子育てについて、どのように感じていますか。(○は1つ)



子育ては楽しいかは、「どちらかと言えば楽しい」が 51.0%と最も多く、「とても楽しい」の 29.1%を合わせた『楽しい』は 80.1%となっています。

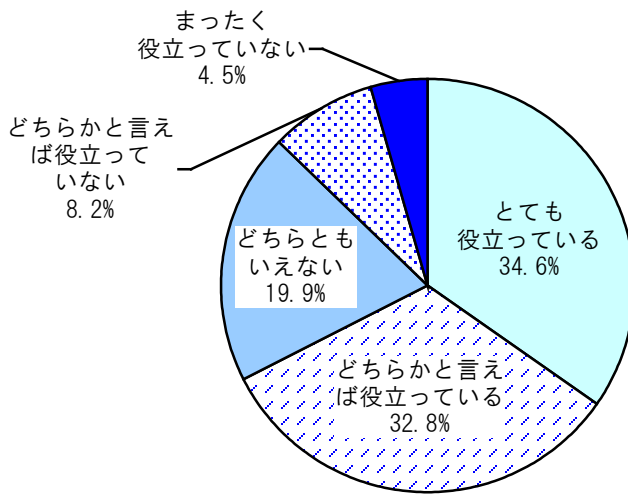
◆ 人口規模別 ◆



人口規模別にみると、いずれの規模も大きな差異はみられません。

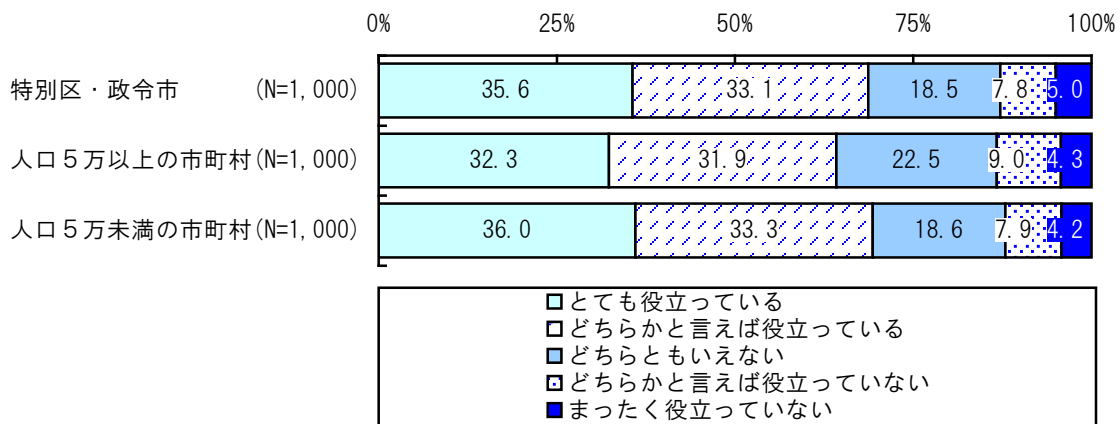
(27) 児童手当は、子育てに係る経済的負担の軽減に役立っているか[問 35]

児童手当（昨年度までは「こども手当」）は、子育てに係る経済的負担の軽減にどの程度役立っていますか。（○は1つ）



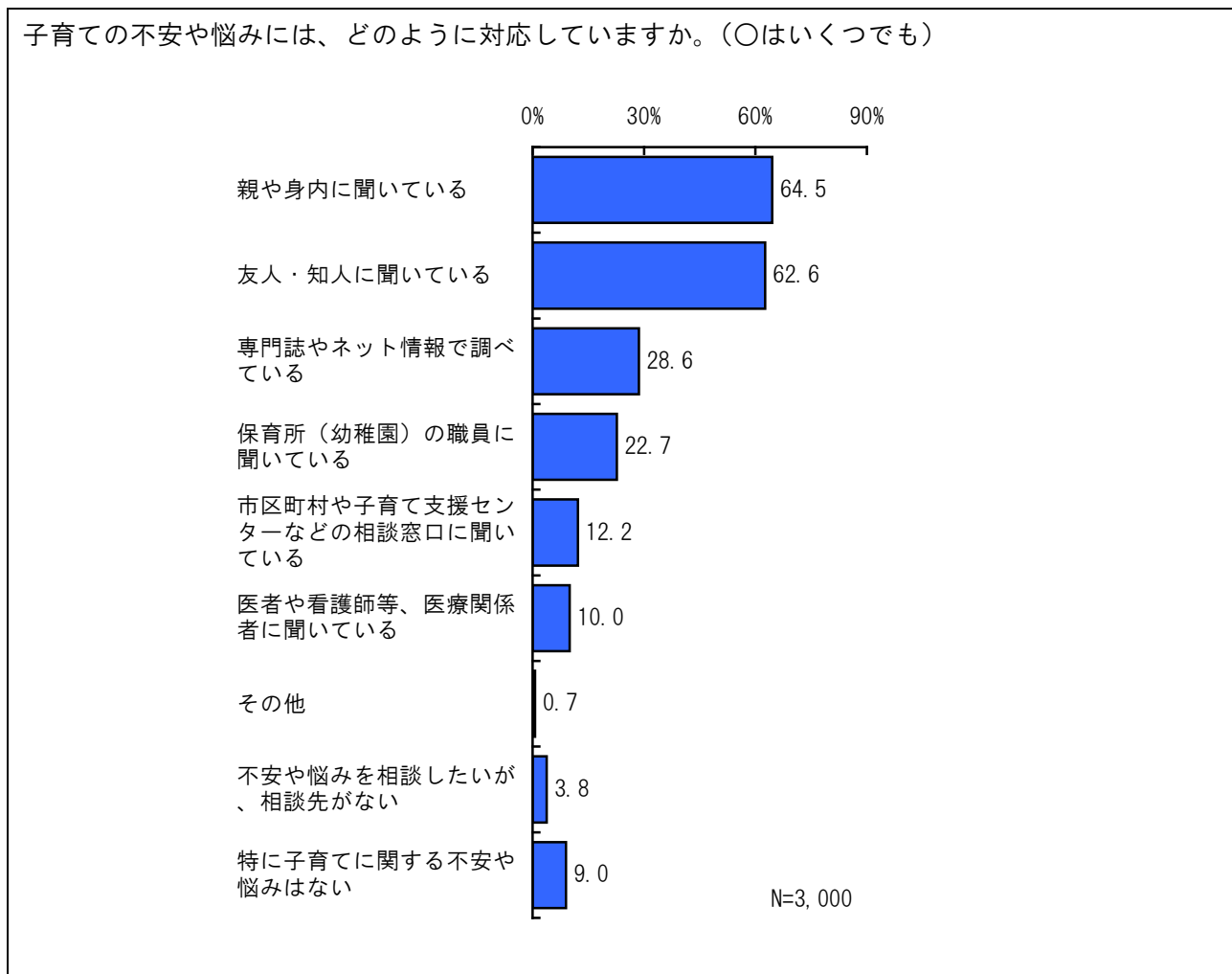
児童手当は、子育てに係る経済的負担の軽減に役立っているかは、「とても役立っている」の34.6%と、「どちらかと言えば役立っている」の32.8%を合わせた『役立っている』が67.4%となっています。

◆ 人口規模別 ◆



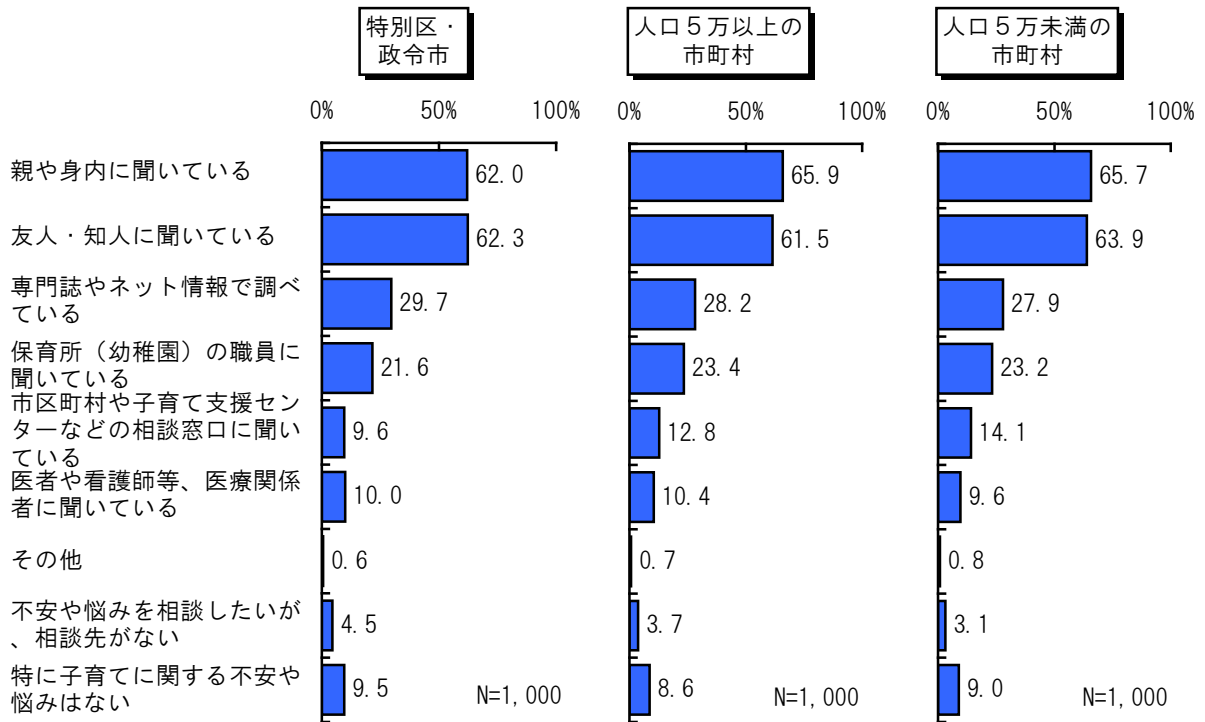
人口規模別にみると、いずれの規模も大きな差異はみられません。

(28) 子育ての不安や悩みの対応法[問 36]



子育ての不安や悩みの対応法は、「親や身内に聞いている」の64.5%と、「友人・知人に聞いている」の62.6%が6割を超えています。次いで「専門誌やネット情報で調べている」が28.6%、「保育所（幼稚園）の職員に聞いている」が22.7%などとなっています。

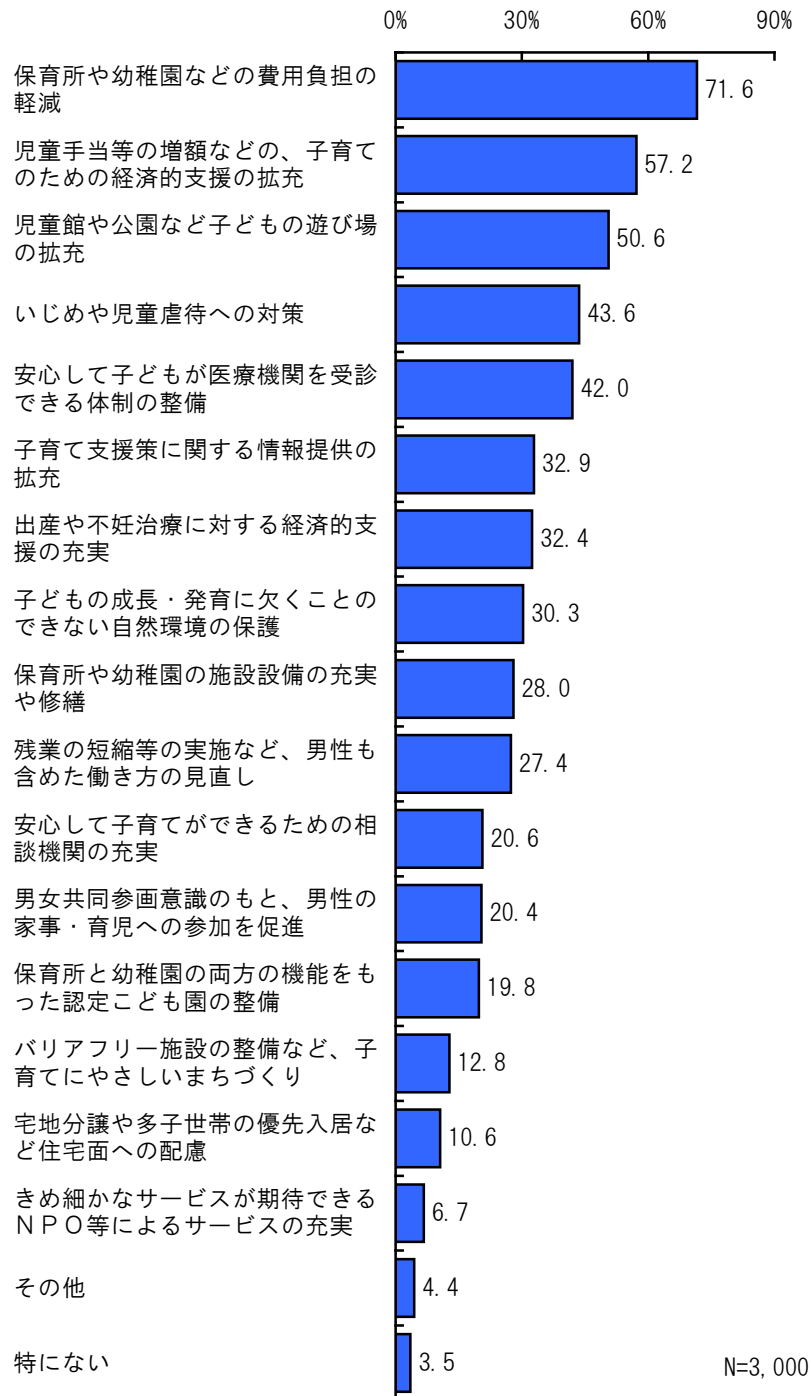
◆ 人口規模別 ◆



人口規模別にみると、いずれの規模も大きな差異はみられません。

(29) 国や自治体に望む支援[問 37]

子育てに関して、国や自治体にはどのような支援をしてほしいですか。(〇はいくつでも)



国や自治体に望む支援は、「保育所や幼稚園などの費用負担の軽減」が71.6%と最も多く、次いで「児童手当等の増額などの、子育てのための経済的支援の拡充」が57.2%、「児童館や公園など子どもの遊び場の拡充」が50.6%などとなっています。

◆ 人口規模別 ◆

単位：(%)

	調査数	保育所や幼稚園などの費用負担の軽減	児童手当等の増額などの、子育てのための経済的支援の拡充	児童館や公園など子どもの遊び場の拡充	いじめや児童虐待への対策	安心して子どもが医療機関を受診できる体制の整備	子育て支援策に関する情報提供の拡充	出産や不妊治療に対する経済的支援の充実	子どもの成長・発育に欠くことのできない自然環境の保護	保育所や幼稚園の施設設備の充実や修繕
特別区・政令市	1,000	73.0	57.8	50.1	42.2	39.9	32.6	29.8	35.1	30.2
人口5万以上の市町村	1,000	71.2	56.9	51.4	45.5	42.1	34.0	32.2	29.1	26.6
人口5万未満の市町村	1,000	70.7	57.0	50.4	43.2	43.9	32.2	35.1	26.6	27.1
	調査数	残業の短縮等の実施など、男性も含めた働き方の見直し	安心して子育てができるための相談機関の充実	男女共同参画意識のもと、男性の家事・育児への参加を促進	保育所と幼稚園の両方の機能をもった認定こども園の整備	バリアフリー施設の整備など、子育てにやさしいまちづくり	宅地分譲や多子世帯の優先入居など住宅面への配慮	きめ細かなサービスが期待できるNPO等によるサービスの充実	その他	特になし
特別区・政令市	1,000	28.9	19.6	22.9	20.9	13.5	10.8	5.4	4.2	3.1
人口5万以上の市町村	1,000	25.6	21.8	18.7	19.5	12.2	10.1	6.2	4.8	3.0
人口5万未満の市町村	1,000	27.7	20.5	19.6	19.0	12.8	11.0	8.5	4.1	4.3

人口規模別にみると、「出産や不妊治療に対する経済的支援の充実」は人口5万未満の市町村が35.1%、人口5万以上の市町村が32.2%、特別区・政令市が29.8%となっており、人口規模が小さいほど多くなっています。「子どもの成長・発育に欠くことのできない自然環境の保護」は特別区・政令市が35.1%、人口規模5万以上の市町村が29.1%、人口5万未満の市町村が26.6%と、人口規模が大きいほど多くなっています。